

NDS-302C型

取 扱 説 明 書

ハイテクコントロールで明日を拓く

6 日機電装株式会社



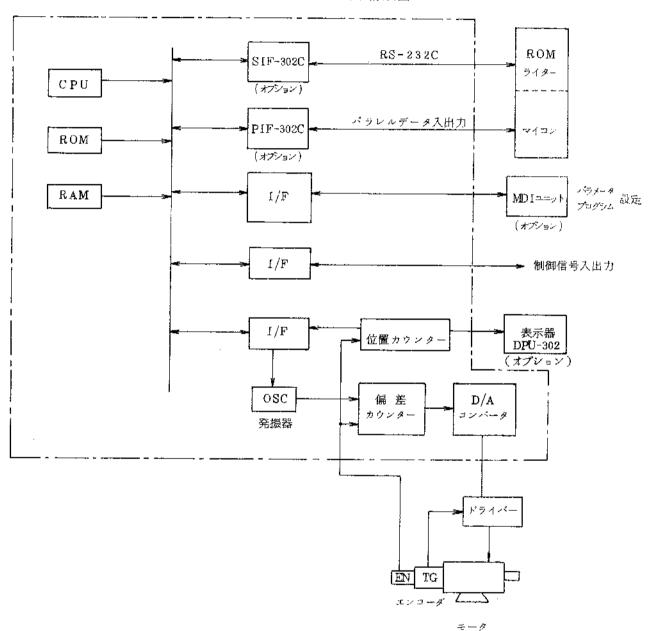
i.	仕	禄 "	. , ,	,,					* * • • • • • • •		• • • • • • • • • • •			ı
2	概略說	9明 …					. , , , , , , , , , , ,	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•••••		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			2
3.	構成フ	ロック	· · · · ·		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		· · · · · · · · ·							3
4.	接 続	図						,			,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,			4
	4. 1	電源系	<b>系統</b> "	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •							••••••	•		4
	4. 2	コネク	クター	接続図			• • • • • • • •					••		5
5.	入出力	信号	,,						, , , , .		• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	• •		9
	5. 1	入力值	号	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •					• • • • • • • • •			•••		9
	5. 2	出力信	号			,			, , . ,	,,,,		,	1	0
	5. 3	外部を	"一夕.	入出力は	信号				• • • • • • • • •	*******	• • • • • • • • • •	•••	1	0
	5. 4	入出力	信号	一覧表							• • • • • • • • • • • •		1	1
6.	動作特	·性 ·		,			•			.,,,,,,			1	5
	6. 1	位置ク	<b>ŕイン</b>						•••••			•••	1	5
	6. 2	直線力	1滅速	******									1	6
7.	データ	設定		••••••				.,	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	•••••	.,,	• • •	1	7
	7. 1	MDI	- 3	0 2 C		••••••		• • • • • • • • •				•••	1	7
	7. 2	プロク	(ラム)	編集 '			.,		••••	,,,	***	•••	2	7
8.	データ	▽転送・			• • • • • • • •		. •				,,,,,,,,,,,		3	3
	8. 1	SIF	- 3	0 2 C	*****							•••	3	3
	8. 2	PIF	- 3	0 2 C							• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		4	6
9.	運転動	作 "									,	,	6	0
	9. 1	寸動動	加作	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	.,,,,,,,,			,					6	0
	9. 2	原点復	帰			******					• • • • • • • • •		6	1
	9. 3	プロク	/ラム:	運転		•••••		,			• • • • • • • • • •	•••	6	2
	9. 4	即値を	- <del>-</del> 夕	<del>-</del> -	*****			, ,	,.			•••	6	6
	9. 5	その化	也の信	号入力!	動作		.,,	•••••				•••	6	7
	9. 6	内部を	<del>「</del> イツ	プスイ									6	9
	9. 7	プログ	グラム・	モード									7	0
	9. 8	固定ス	プログ	ラム・	,,								7	0
10.	状態表	示機能	ŧ					· . <i>.</i>	.,	•••••		- • •	7	1
1.1	41 L	. <del></del> .	- k	- 2 ) 1 4 4			, ,	<del></del>					7	5

# 1. 仕 様

			1	NDS-302C基本仕様	·
	項	目		仕	<del></del>
1.	電		源	5 V ± 5 % 4 A 以下	
2.	制	御機	能	プログラム方式 1 軸制後	1
3.	位	置指合方	式	インクレメンタル / アラ	ブソリュート併用
4.	デ	タ 入	カ	MDI — 302Cまたは による	4外部からのデータ転送
5.	最	高送り周波	数	300KHZ	
6.	最	大 指 令	値	6桁(±999999max	)
7.	プ	ログラム記	憶	1000 ステップ max(同時	持稼動 500 ステップ max )
8,	速	度 設	定	1~256	
9.	動	作 モ ー	۲	編集モード、自動モート	、手動モード
10.	ブ	ログラム保	- 存	バッテリーバックアップ	プ(又はROM固定可能)
11.	制	御 入	カ	接点または無接点(オー (フォトカプラーによる	
12.	制	御出	カ	オープンコレクタ 注) フォトカプラード は行なっていません	こよるアイソレーション

# 2. 概略說明

NDS-302C型は、NDS-302B型の位置決め装置にプログラム機能を追加したもので、各種の指令をシーケンスプログラムとして記憶させる事ができます。

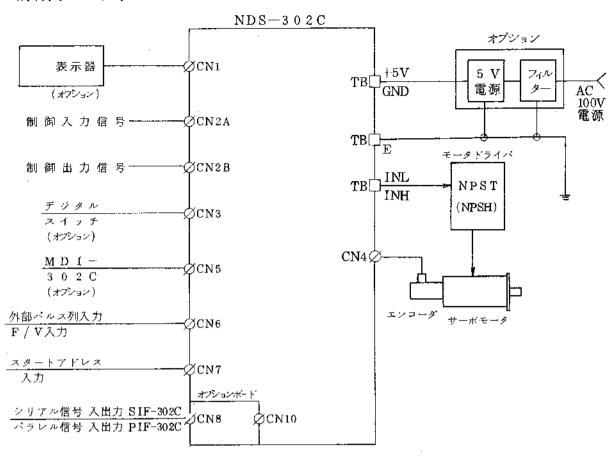


NDS-302C回路構成図

データインプットユニット(MDI-302C)から人力されたプログラムは、任意のシーケンス番号から実行する事ができます。

またオプションのインターフェースユニットを追加することにより、外部のパーソナルコン ピュータと接続しプログラムの転送を行なうことができます。

# 3. 構成ブロック

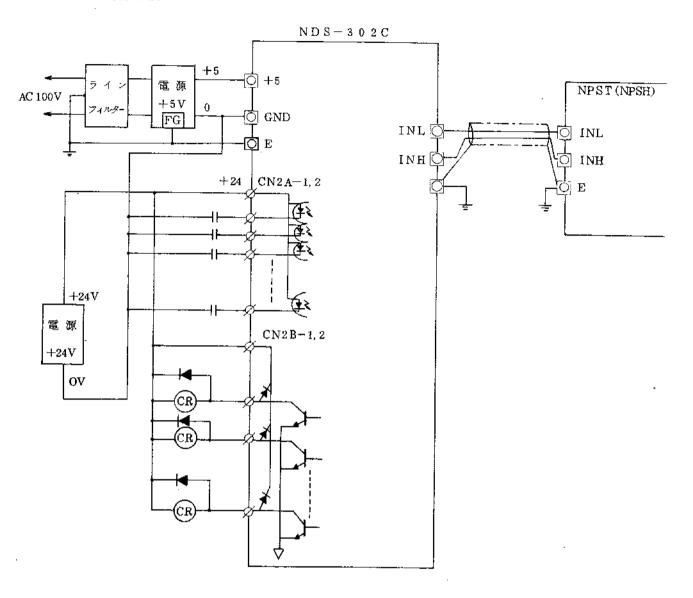


ケーブルコネクタ

コネクタ番号	内 容	ケーブル
CN1	表示器接続	ケーブル長 1.5 mオプションの表示器に付属
CN2A	制御信号入力	コネクタのみ標準付属
CN2B	制御信号出力	コネクタのみ標準付属
CN3	デジタルスイッチ接続	ケーブル長 1.5 mオプションのデジタルス
		イッチに付属
C N 4	エンコーダ 接続	オプションのエンコーダケーブルを接続し
		ます。
CN5	M D I - 3 0 2 C 接続	ケーブル長 3 m オプションの M D I -302
		Cに付属
CN6	パルス中継ユニット	接続ケーブル長80㎝オブションのパルス
		中継ユニットに付属
CN7	スタートアドレス指定信号	入力。シーケンサー等の信号を入力コネクタのみ
		標準付属
CN8	パラレル / シリアル信号入	出力 オプションのボードにコネッタのみ付属

# 4.接続図

### 4.1 電源系統



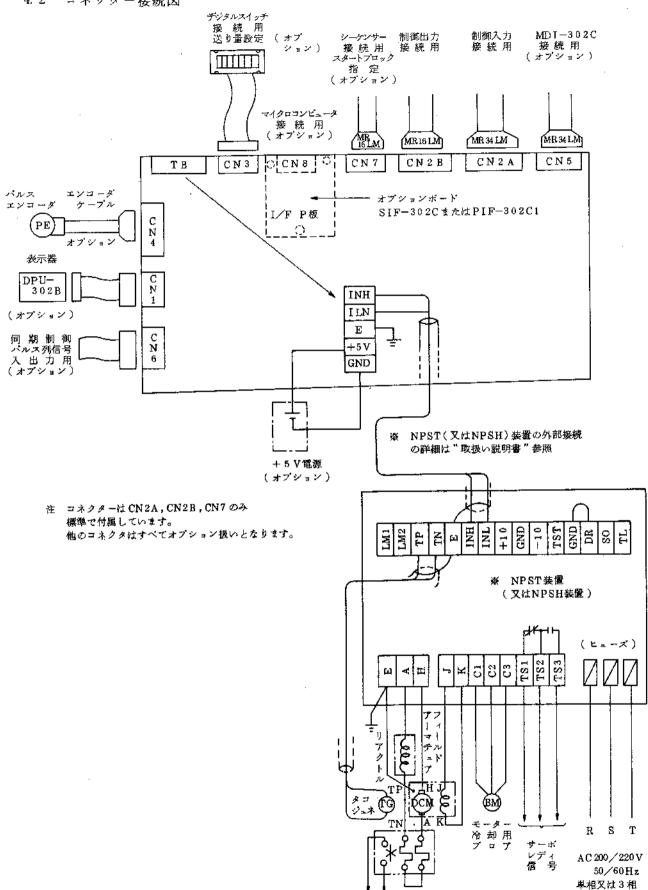
電源系統は内部ロジック用に+5 V電源、制御入出力用に+2 4 V電源が必要です。

電源 1: 5 V 電源 D C 5 V ± 5% 定電圧 4 A

電源2:24V電源 DC24V±10% 定電圧1A

大地アースは必ず取って下さい。(第3種接地以上のもの)

### 4.2 コネクター接続図



注 マグネットモータには、フィールドの接続不要 プロア付モータ以外は、プロアの接続不要 上図はNPST装置の接続例を示す。

# CNI 表示器用コネクタ

# (日本航空電子㈱製 PS-20PA-D4LTI-LI)

ピンNa	A 1	A 2	A 3	A 4	A 5	A 6	A 7	A 8	Λ9	A10
信号名	GND	+5 V	セグメント a	セグメント c	セグメント e	セグメント g	I D 6	ID4	I D 2	+/-
ピンNL	B 1	B 2	В 3	В 4	B 5	B 6	B 7	В8	В 9	B10
信号名	GND	+ 5 V	セグメント b	セグメント d	セグメント f	-	ID5	ID3	I D 1	RESET

# CN2A 制御入力用コネクタ

# (本多通信工業㈱製 MR34RFA 34P)

ピンNQ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	13	13	14	15	16	17
信号名	+24℃	+24V	EDIT	ΑÙ	MU	ZR	AUST	FS	RS	STEP	LS 1	LS2	CLR	CLD	MUST	AUSP	HOLD
ピンNG	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
信号名	PSL	CIH	PIH	MFN	BRCH	SEL	FOT	ROT	EMG	F10	F20	F40	F80	GND	GND	_	

# C N 2 B 制御出力用コネクタ

### (本多通信工業㈱製 MR-16RFA 16P)

ピン16.	1	2	3	4	5	6	7	8
信号名	+24V	+ 2 4 V	M 1	M 2	M 4	M 8	M10	M20
ピンル	9	1 0	11	1 2	1 3	1 4	15	16
信号名	M 4 0	M80	PEND	PSN	MSTB	OF	PW	RDY





### CN3 デジタルスイッチ入力用コネクタ

# (日本航空電子㈱製 PS-26PA-D4LT1-L1)

ピンMa	A 1	A 2	A 3	A 4	A 5	A 6	A 7	A 8	A 9	A10	A 1 1	A12	A13
信号名	GND	+5 V	_	数值 入力 11	数值 入力 14	数値 入力 21	数值 入力 24	10 <sup>9</sup> , 10 <sup>4</sup> ケタ	10 10 10 ケタ	_	_	_	_
ピンNa	B 1	B 2	В 3	B 4	В 5	B 6	В7	B 8	В 9	B10	B11	B12	B13
信号名	GND	+5V	1	数值 入力 	数値 入力 18	数值 入力 22	数直 入力 28	10 <sup>2</sup> , 10 <sup>3</sup> ケタ	+/ * のケタ	_	_	_	

# CN4 バルスエンコーダ入力用コネクタ

# (本多通信工業㈱製 MR16RFA 16P)

ピンML	1	2	3	4	5	6	7	8
信号名		マ <del>ー</del> カー 信 号	Bパルス 信 号	Aパルス 信 号	GND	+5 V		
配線色別		÷ EM	ミドリ <b>EB</b>	アカ E A	クロ OE	シロ 15E		
ピンNo.	9	10	11	12	13	14	15	16
信号名				マーカー信号	Bンシレス 信号	A/VVス 信 号	GND	+5 V
配線色別				クロ 0 M	クロ 0 B	クロ 0 A	クロ 0 E	シロ 15E

# CN5 MDI-302.C接続用コネクタ

# (本多通信工業㈱製 MR34RFA 34P)

ピンNa	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
信号名	+5V	+5 V	GND	GND	ово	OB1	OB2	ОВЗ	OA0	OA1	OA2	OA3	ВD	ន០	S 1	S 2	នន
ピンND	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34_
信号名	R7	R6	<b>R</b> 5	R4	R3	R2	Ri	Ro	-	_	<del>-</del>	1		+	4	E	E

# CN6 同期用パルス入出力

#### (日本航空電子㈱製 PS-20PA-D4LT1-L1)

ピンNa	A 1	A 2	A 3	A 4	A 5	A 6	A 7	A 8	A 9	A10
信号名	GND	+ 5 V	+15V	FC2	RC 2	RF	FF	FC	RC	I N H - 2
ピンNo	В 1	B 2	В 3	B 4	B 5	В 6	B 7	В 8	B 9	B10
信号名	GND	+5 V	-15V	GND	GND	GND	GND	GND	GND	INL -2

# CN7 シーケンサー信号入

### (本多通信工業㈱製 MR16RFA 16P)

ピンNo	i	2	3	4	5	6	7	8
信号名	GND	GND	+5 V	+5 V	N 1	N 2	N 4	N 8
ピンNG	9	10	1 1	1 2	1 3	14	15	. 6
信号名	N 1 0	N 2 0	N 4 0	N 8 0	N100	N200	N400	N800

#### ※CN8については、(1)シリアル I/Fを使用する場合

8.1章を御参照下さい。

(2)パラレル I/Fを使用する場合

8.2章を御参照下さい。

CN9 コネクタ

(バッテリー用)

1	2	3	4	5
バッテリ	- 0		バッテリ	- ⊕

日本エーエムピー(開製

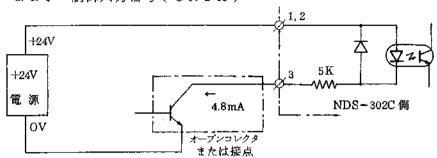
ポストヘッダアセンブリ

171-022-5 5P(スイチョクガタ)

# 5. 入出力信号

#### 5.1 入力信号

#### 5.1.1 制御入力信号(CN2A)

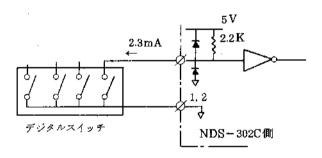


制御入力信号は、フォトカプラによって内部とはアイソレーションされています。

信号入力電流はDC24V4.8mAです。特に接点信号を使用する場合は、微小電流 開閉用リレーを使用してください。

#### 5.1.2 スタートアドレス入力(CN7)

プログラムの実行開始アドレスを指定できます。デジタルスイッチを使用して、BC D3桁を入力します。またオープンコレクタ入力による方法でも可能です。



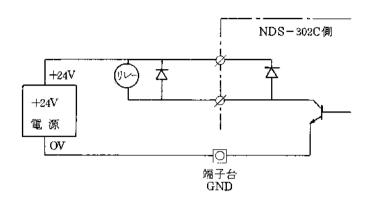
#### 5.1.3 デジタルスイッチ(CN3)

オプションのデジタルスイッチを使用することにより、プログラムの中で送り量の設定を行なうことができます。

符号付き6桁により方向と送り量を指定します。ケーブルの長さは1.5mです。

#### 5.2 出力 号

#### 5.2.1 制御出力信号(CN2B)



各出力はトランジスタのオープンコレクタ信号となっており、電圧30V以下、電流 100mA以下で使用して下さい。

リレー駆動電源の0VはNDS-302Cの端子台に接続してください。

注) 出力信号ラインは、電源(24V)と短絡しないでください。内部のトランジスタが壊れます。

#### 5.2.2 表示器(CN1)

表示器 (DPU-302B) と接続します。接続用のフラットケーブルは DPU-302B に付属しており、長さは  $1.5\,\mathrm{m}$ です。

5.2.3 サーボドライバ、速度指令アナログ出力(INH-INL)

サーボドライバの速度指令電圧を出力します。(DCO~±10V)配線は強電ラインとは 別束線にしてノイズの影響を避けてください。

配線は2m以内でシールド線を使用してください。

#### 5.3 外部データ入出力信号

- 5.3.1 シリアル入出力(CN8)オプションのシリアルインターフェース SIF-30 2C を取り付けることにより、RS-232Cによるデータの入出力ができます。
- 5.3.2 パラレル入出力(CN8)

オプションのパラレルインターフェースPIF-302C1(オープンコレクタ出力)、PIF-302C2(アイソレーション仕様)を取り付けることによりパラレルのデータの入出力ができます。

注) シリアル入出力とパラレル入出力は1台の装置に両方共取付けることはできません。





# 5.4. 《入出力信号一覧表》

	記号 接続	内 容 説 明
編 集 モ ー ド	EDIT CN2A-3	入力している間編集モード選択
自動モード	AU CN2A-4	入力している間自動モード選択
手動モード	MU CN2A - 5	入力している間手動モード選択
原点復帰起動	ZR CN2A-6	手動モードで入力するとパラメータで指定され
		た初速と方向で、原点復帰を開始する。
自 動 起 動	AUST CN2A-7	自動モードで入力すると、プログラムの実行を
		開始する。
正転起動	F S   CN2A - 8	手動モードで入力している間、正方向の動作を
		行なう。
逆転起動	R S   CN2A ~ 9	手動モードで入力している間、逆転方向の動作
		を行なう。
ステップ動作	STEP CN2A-10	自動モードで入力すると、プログラムの単一ブ
		ロック動作を選択する。
原点用减速LS	LS1 CN2A-11	原点復帰動作時、滅速用リミットスイッチの信
		号を入力する。
原点用LS	LS 2 CN2A-12	原点復帰動作時、原点用リミットスイッチ信号
		を入力する。
ク リ ア	CLR CN2A-13	偏差カウンタをクリアする。
表 示 ク リ ア	CLD CN2A-14	表示器の表示をクリアする。
手動速度選択	MUSP CN2A-15	手動モードで入力すると、手動速度調整入力が
		有効となります。
自動速度選択	AUSP CN2A-16	自動モードで入力すると、すべての移動速度が
		パラメータの設定値になる。
ホールド	HOLD CN2A-17	自動運転中に入力すると、一時停止する。
パルス列入力選択	PSL CN2A-18	外部パルス列入力を有効とする。
カウント禁止	CIH CN2A-19	指令カウンタ減算禁止
パルス人力禁止	PIH CN2A-20	偏差カウンタ入力禁止
補助出力完了	MFN CN2A-21	補助機能実行完了
条件分岐入力	BRCH CN2A-22	G91における判断入力
軸選択	SEL CN2A-23	装置選択、動作時 O N



<u></u>	= =	1	
	記号	接続	内 容 説 明
正方向オーバートラ	FOT	CN2A-24	正方向動作時入力すると、モータ動作は停止す
~n L S			る。正常入力時は常時ON状態で、オーバトラ
	<u></u>		ベル時OFF状態とする。
逆方向オーバートラ	ROT	CN2A-25	逆方向時FOTと同じ動作を行なう。
ベルLS			
非常停止	EMG	CN2A-26	非常停止動作を行なう。 FOT,ROTと同じく常
			時 ON状態で、異常時 OFF状態にする。
手動速度設定入力	F10	CN2A-27	手動モード時制御人力MUSPが入力されると
	F20	CN2A-28	   有効となり、移動速度を10~100%に可変す
	F40	CN2A-29	る。(BCD設定となります)
	F80	CN2A-30	
スタートアドレス入力	N 1	CN7-5	自動モードでスタートアドレス外部指定の場合
	N 2	CN7-6	に有効となります。電源投入時及び編集モード
	N 4	CN7-7	動作を設定した後に設定されます。このためス
	N8	CN7-8	タートアドレスを変更するには一度編集モード
	N10	CN7-9	に設定する必要があります。
	N20	CN7-10	
	N 4 0	CN7-11	
	N80	CN7-12	アドレスはBCD3桁で指定します。
	N100	CN7-13	
	N200	CN7-14	
	N400	CN7-15	
	N800	CN7-16	
データ入力(1バイト)		CN3	1 バイト(BCD2桁)のデジタルスイッチに
		1	よるデータを入力する。
桁、符号選択出力			1バイト分の桁選択および符号選択出力
エンコーダ入力信号		CN4	ラインレシーバ人力 90° 位相差 2 相入力
·		j	マーカー付き



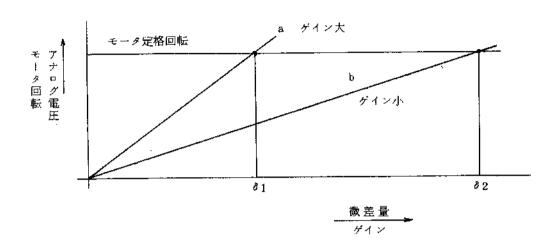


	記号	接続	内 容 説 明
正転パルス入力	FC2	CN6-A4	N 15 4 =
	リターン	CN6-B4	0.15 μs 以下 \1.5 μs以上 1.5 μs以上
逆転パルス入力	RC 2	CN6-A5	
	リターン	CN6-B5	2.4V以上
			0.4V以下
表示用出力		CN1	符号付 6 桁ダイナミック表示
			(オプションDPU-302Bに接続)
プログラムエンド	PEND	CN2B-11	自動運転中にG99(プログラムエンド)を検
			出すると出力。
位置決め完了信号	PSN	CN2B-12	自動モードにおける移動動作完了後及び手動モ
			ードにおける原点復帰完了時出力
オーバーフロー信号	OF	CN2B-14	偏差量が規定値をこえると出力
異常信号	PW	CN2B-15	異常発生時出力
			(MDI-302Cにエラー%を表示)
			正常時出力はON、異常時はOPEN
			出力OFF
			<del>-</del> 異常
起動要求信号	RDY	CN2B-16	起動待ち状態で出力
補助出力信号	M 1	CN2B-3	
·	<b>M</b> 2	CN2B-4	自動運転中G65およびG66に出力を指令、
	M 4	CN2B-5	制御出力MFNにてOFF
	М8	CN2B-6	M 0 0 - M 9 9
	M10	CN2B-7	
	M 2 0	CN2B-8	
	M40	CN2B-9	
	M80	CN2B-10	
補助出力ストロープ	мѕтв	CN2B-13	補助出力の出力後ON
			制御人力MFNにてOFF

	記号	接続	内 容 説 明
キー入力信号		CN5	編集モード状態でMDI-302Cによる
表 示 出 力 信 号			プログラムの入力、自動および手動
			モードの状態でエラーコードを表示する。
パラレル入出力信号		(CN8)	8.2章を参照してください。
シリアル入出力信号		(CN8)	8.1章を参照してください。
速度指令出力		INH	DC 0~±1 0 V
		INL	

# 6 動作特性

#### 6.1 位置ゲイン(ループゲイン)



位置のゲインは D/A コンバータの回路で調整を行ない偏差量として表わされます。偏差量はプリント板上の LED(1~2048)で表示されます。偏差量の状態を見る方法は、モータを定格回転数で動作させて点灯している表示を加算することにより確認できます。

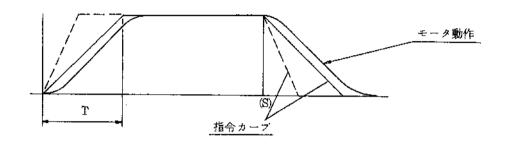
と表わされるため、モータ回転数が同じ時に偏差量を変えることは位置ゲインを変える ことに相当します。上図でゲインを大きくするとカーブはb→aとなり、同一回転数に対 して偏差はぬからみへと少なくなります。

ゲイン調整は負荷により再調整を必要とする場合があります。

\* ゲインを大きくしすぎるとモータの回転動作が不安定となり、停止、運転時に振動 現象をおこすことが有ります。(通常ゲイン設定P11は40以下にしてください)

# 6.2 直線加減速

NDS-302Cは、モータ起動時、停止時に指令値パルスとして直線加減速カーブを作り出しモータを動作させています。同じパワーで位置決め時間が短縮され、機械に不必要なショックを与えません。



ループゲインを同一として、指令カープの傾きを自由に設定できます。

最大回転数までの立ち上がり時間 Tは 50ms  $\sim 30$  sec の間で設定可能です。

# 7. データ設定

NDS-302Cを動作させるには、最初にパラメータおよびプログラムの設定を行ないます。 データの設定はオプションのMDI-302Cによるキー操作による入力、またはSIF-302C、PIF-302Cによるデータ転送によって行ないます。

#### 7. 1 MDI - 302C

プログラムおよびパラメータは、編集モードにおいて入力可能です。また自動モードにおいてプログラムの実行中はMDI-302Cに実行中のシーケンス番号と準備記号(GM)を表示します。

7. 1. 1

表 3 キーボード各部の機能

表示部操作部	図 示番 号	種 別	機能
表	1	N/P 表 示	プログラムステップ番号 エラー番号 パラメータ番号
赤	②.	DATA表示	プログラムデータ の表示 パラメータデータ
和	3	カーソル表示	DATA表示中の 要素の表示 データ入力
· 操 作	4)	データキー	0~9, +/- データ入力キー
部	(5)	コマンドキー	プログラム編集   実行のためのキー パラメータ入力

# MD I - 3 O 2 Cパネル図

0		10
	MDI-302C <sub>N/P</sub>	•
	DATA	
	300000 NGXFM	
	PRO INC ABS T R	
	7 8 9 N WR	
	4 5 6 PRA PRO (1)	
	123 INC ABS	:
	O +- DEL INS CL	
	F <sub>2</sub> PAC	
0		

### 7.1.2 カーソル表示の説明

各カーソルの点灯した時の意味を示します。MDI-302Cの入力はカーソルの表示に従って行ないます。この時入力範囲以外の入力は自動的に排除されます。

7. 1. 3

表4 カーソルー覧表

	カーソル 記 号	各要素に対す る入力範囲	意
	N	0 ~ 999	プログラムステップ番号入力(又は表示)中
設定	G	指定した G コードのみ	準備機能(Gコード)入力(又は表示)中
<del>要</del> 素	X	0~±999999	指令値入力(又は表示)中
表示	F	1 ~ 256	速度入力(又は表示)中
ъ D	M	0 ~ 99	補助機能(Mコード)出力データの入力(又は表示)中
ソル	Т	0 ~ 1000 (1 単位 10ms)	時間入力(又は表示)中
	R	0~1000	繰り返し回数の入力(又は表示)中
-E	PRO		プログラム編集モード (OFFの場合、バラメータ入力(又は表示)モード)
ド表示カ	INC		指令値(X)がインクリメンタルデータであることを示す。
ソル	ABS	-	指令値(X)がアブソリュートデータであることを示す。

# 7.1.4 データキーの説明

データキーは、押されたデータキーに対応した数字または符号を入力します。ただし データ入力時に禁止されている符号を入力した場合は受付けません。データキーの種類 と機能を表示します。 number of

### 7. 1. 5

表 5 データキーの一覧表

デの	ータ: 種	キー 類	データキー 名	機 能
	テ ン キ ー		0 1 2 3 4 5 6 7 8	プログラムステップ番号(N)、Gコード(G)、指令値(X)、速度(F)、Mコード(M)、時間(T)、繰り返し回数(R)、パラメータの値を入力
符	:号キ	_	+/	+(DATA表示部最上部けたに表示なし):正転側 -(DATA表示部最上部けたに"-"表示中):逆転側

# 7.1.6 コマンドキーの説明

コマンドキーは、プログラム編集モード時とパラメータ入力(または表示)の時では各コマンドに対しての機能および内容が異なります。プログラム編集モード時の各コマンドの機能および内容は、表6をご覧ください。

またパラメータ入力(または表示)の時の各コマンドキーの機能および内容は長7を ご覧ください。

表6 プログラム編集モード時のコマンドキー一覧表

Trace o

キーの 種 類	キー名	機	能	内 容	
	→ WR	登	绿	現在表示中のデータを登録する。	
ブ	<b>↑</b>	プログラム. 番号カウン	-	1 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	注1)
グラ	<b></b>	プログラム 番号カウン		N/P 表示部のプログラムステップ番号を 1 カウントアップする。	注1)
	CL	クリ	7	表示中のプログラムステップのデータをクリアする。	
集	N			プログラムを入力(又は表示)したいプログラムステップ番号を選択する。	
用コマン	INS	インサ	一	現在表示している N/P 表示部のプログラムステップ番号以降のプログラムステップを 1 プログラムステップ 分後にシフトして表示している N/P 部のプログラムステップの所を空かす。	注1)
ドキー	DEL	デ り ( 削	- ト 除 )	現在表示している N/P 表示部のプログラムステップ番号を削除して、その次からのプログラムステップを 1ブログラムステップ分前にシフトする。	注1)
	PAC	全 <i>プロク</i> ステップ:		登録されているプログラムステップを全て消去する。	注2)
Æ	PRA/PRO	パラメータ <b>、</b> ラムモード		パラメータ入力(又は表示)モード プログラム編集モード 選択キー	注1)
- ド	INC/ABS			インクリメ <i>ンタル</i> アブソリュート 選択キー	
選 択 キ	F <sub>1</sub>	RS232C 送信モー	ド選択	RS232Cでのデータ送信モード	
1	F <sub>2</sub>	RS232 <b>C</b> 受信モート	"選択	RS232Cでのデータ受信モード	

注1) G カーソルが点灯している時のみ有効である。

注2) G カーソルが点灯している時のみ受付け、その後 WR キーによって 有効となる。

■ キー以外を入力した場合は、無効となります。

表7 パラメータ入力(又は表示)時のコマンドキー一覧表

キーの 種 類	キー名	機	能	内	容
パラ	wk				
メ 1 タ	1	登録をパラ 番号カウン		現在表示しているパラメータデー タ番号を1カウントダウンする。	タを登録した後、バラメー
入 力	<b>+</b>	登録をバラ 番号カウン		現在表示しているパラメータデー タ番号を1カウントアップする。	タを登録した後、パラメー
へ 又 は	CL	9 1	· 7	表示中のパラメータデータをクリ	アする。
表 示 <b>〕</b>	N				
用コ	INS				
بر الم	DEL	<u>-</u>			
† ]	PAC				
ŧ	PRA PRO	パラメーク ラムモー	タ、プログ ド選択	パラメータ入力(又は表示)モー プログラム編集モード	ド   選択キー
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	INC ABS				
択・	Fı				
1	F <sub>2</sub>				

			 . 44.0×00	
注1)	1	キーか・	キーを押した後、	有効になる。

### 7.1.9 パラメータデータの入力および表示

カーソルを消灯した後、各パラメータをデータキーとコマンドキーを使用して入力します。入力できないデータを登録しようとした場合はそのデータを3回点滅させて登録が不可能であることを知らせてそのデータをクリアします。

# 7.1.10 パラメータの入力

表 8 パラメータ入力一覧表

_	<del></del>	<del></del>	
パラメータ 番 号	パラメータ名	入力範囲	① パラメータ定義 ② パラメータデータの設定方法
P01	最高周波数	0 ~ 300000	<ul> <li>① モータの最高回転数を定格回転数にするための設定</li> <li>② A:モータの定格回転数         B:エンコータの1回転数         C:P07の設定値</li> <li>P01設定値= A×B / 60 × C / 65536 [Hz]</li> </ul>
P0 2	手動速度	1 ~ 256	<ul> <li>① 手動モードで手動操作を行う時の速度設定</li> <li>② 下図参照</li> <li>② 定格回転/2 定格回転</li> <li>モータの回転</li> </ul>
POS	原点復帰速度	± 1 ~ 256	<ul> <li>手動モードで原点復帰動作を行なう場合の初速及び方向設定</li> <li>下図参照</li> <li>設定速度 256/2 定格 回転/2 1</li> <li>定格 回転/2 1</li> <li>定格 回転/2 (設定速度)</li> <li>256/2 (設定速度)</li> </ul>

パラメータ	パラメータ名	入力範囲	パラメータデータの設定方法
P04	原点復帰	1 ~ 256	<ul> <li>① 手動モード及び自動モードで原点復帰を行なう場合のクリーン速度設定</li> <li>② P02参照</li> <li>注意) P04は、通常P03の設定値の1/100として下さる。</li> </ul>
P05		1 ~ 256	① 自動モードで制御入力 AUSPを入力した場合の速度設定
P05	自動速度	1 - 2 2 3 0	② P02参照
			① モータが止まった状態から定格回転数になるまで(又は、定格回転数からモータが止まる状態になるまで)の時間を設定
P06	加減速時間	0 ~ 3000 (10 m sec 単位) 50 m sec ~30 秒	② モータ回転数 定格 回転 T(SEC) 下(SEC) 時間 P 0 6 設定値-T(SEC) × 10 <sup>-2(sec)</sup>
P07	フィードバック率	I ~ 262144	<ul> <li>① エンコーダのフィードバックバルスの分周により位置決めバルスの補正を設定</li> <li>② A:エンコーダ1回転当りの負荷の移動距離〔mm / P〕</li> <li>B:設定したい1パルス当りの移動距離〔mm / P〕</li> <li>C:エンコーダの1回転のバルス数</li> <li>P07設定値=A/BC×65536</li> </ul>
P08	指令倍率	1 2 拾 4	① 設定指令値(X)の倍率設定 ② 実際の移動量=指令値(X) X P 0 8 の設定値

パラメータ	パラメータ名	入力範囲	
番 号	· // · // · // · // · // · // · // ·		パラメータデータの設定方法
P09	表示分割率	2 分割	<ol> <li>表示器の表示データの分割率を設定</li> <li>表示= 実際の移動量 P09の設定値</li> </ol>
P10	バックラッシュ 加算値	0 ~ 256	① モータの回転方向が反転する場合、指令値XXに指令倍率 (P08) の移動量を加算するための設定 ② モータの回転が反転した場合の移動量
			ー { 指令値(X)+ P 1 0 設定値 } × P 0 8 の設定値
P11	ループゲイン	0 ~ 100	① ドライバーへの指令電圧の増幅率を設定 ② 通常40を設定
			注意) 高く設定するとモータが振動することがあります。
P1 2	完了信号出力 タイミング	0 ~ 15	① 完了信号PSNを出力させたい偏差カウンターの残りパルス 数を設定
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·			② 標準は、2 に設定します。
P13	浮動原点設定	0 ~ ± 999999	① 浮動原点とする位置を機械原点を基準として設定 ② 浮動原点としての設定値 ・ 機機・械・ 場動原点 点 点

パラメータ 番 号	パラメータ名	入力範囲	バラメータデータの設定方法
P14	ホールド時減速時間設定	0 ~ 3000	<ul> <li>(1) ホールド信号入力時、定格回転数からモータが止まるまでの時間を設定</li> <li>② 回転数 ホールド信号記入</li> <li>定格回転数 T(SEC) 時間</li> <li>P14設定値=T(SEC)×10<sup>-2</sup>(sec)</li> <li>注意) 設定値はP06より小さく設定すること。</li> </ul>

# 7.2 プログラム編集

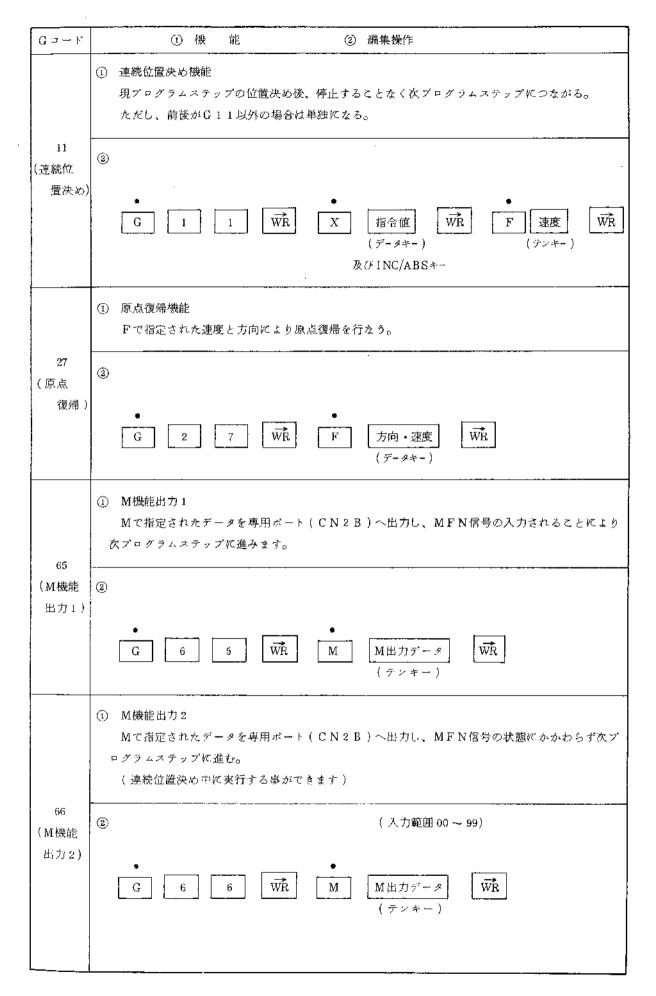
PRA/PRO キーを押して、PRO カーソルを点灯した後、Gコードをデータキー ーとコマンドキーにより入力します。また各要素のデータが人力できないデータである場合はそのデータを3回点滅させて、登録が不可能であることを知らせてそのデータをクリアーします。

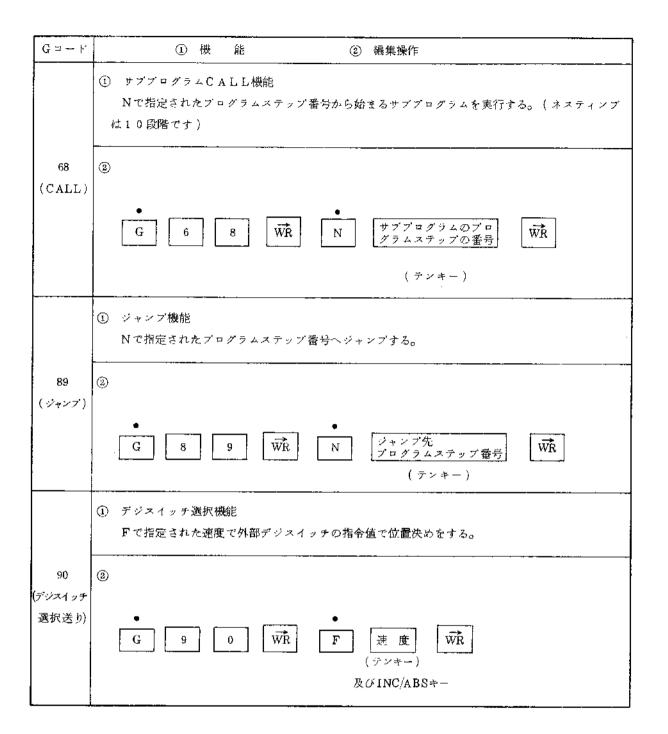
# 7.2.1 プログラムの入力

# 表 9 Gコード入力一覧表

·,:\_,::: ·

	: 点灯中カーソル表示 : 消灯中カーソル表示 : キー入力を示す。
G ⊐ − ド	① 機 能 ② 編集操作
0 (早送り)	① 早送り機能 定格回転数(最高速度)でXの指令値を位置決めする。
	② G 0 WR X 指令値 WR (データキー) 及びINC/ABSキー
****	① 切削送り機能 Fを指定された速度でXの指令値を位置決めする。
1 (切削	② (速度入力範囲 1 ~ 256)
送り)	•
	① ドウェル機能 Tで指定された時間停止する。
4 (トウェル)	② (人力範囲 1 ~ 1900) 1 : 10 m sec
	● G 4 WR T 時間 WR (テンキー)
6 (繰り 返し)	① 繰り返し機能 Rで指定された回数だけ前ステップを繰り返す。
	・ G 6 WR R 繰り返し回数 WR (テンキー)





7 2.27 1 1 1 mm =

G = - }*	① 機 能 ② 編集操作
	① 条件分岐機能 分岐入力(BRCH)の条件より分岐する。(下図参照)
	分岐入力(BRCH)の状態     動作       "L"     Nで指定されたプログラムステップ番号にジャンプします。
	" 日" 次プログラムステップに進みます。
91 (条件 分岐)	ただし、サブプログラムでは使用できない。
グル版 / [	②
	G 9 1 WR N 分岐した場合のジャンプ先 WR (テンキー)
	<ul><li>① サブプログラムのリターン機能</li><li>サブプログラムが呼ばれたプログラムステップの次のプログラムステップに戻る。</li></ul>
98 (リターン)	②
į.	•
	① プログラム終了機能 制御出力PEND(CN26)を出力してプログラムは停止し、プログラムスタート待ちの状態 になります。
99 (終了)	@
	G 9 9 WR

Gコード	① 機 能 ② 編集操作
G 2 5 (外部指令 選択)	<ul> <li>① PIF-302C(パラレルインダーフェース)を介して、外部指令を受信し、そのデータにより実行する。</li> <li>(外部指令の方法は、8.2 PIF-302C、の即値データと同じです。)</li> <li>②</li> <li>②</li> </ul>
G24 (寸 動)	<ul> <li>① Fで指定された速度と方向により、寸動指令信号(BRCH分岐信号と共用)が"L"の問モータを回転し、寸動指令信号が"H になるとモータは、減速して停止する。注1) 寸動の動作できる範囲は、下表に従い指令倍率によって異なります。(下表以上となった場合はエラーとなります。)</li> <li>指令倍率 動作できる範囲 1 999996 2 499998 4 249999</li> <li>注2) 最初から寸動指令信号が"H"の場合は、寸動指令信号が"L"になるまで待ち状態となります。</li> <li>②</li> <li>②</li> </ul>
G79 (再スタ ート)	<ul> <li>(1) 外部スタートマドレス指定(CN7)により、プログラムを再スタートする。</li> <li>注) このGコードの外部スタートアドレスで指定できる範囲は、電源入力時又は、編集モードをOFFした時に設定されたアドレスより、G99のある所までの範囲である。</li> <li>②</li> <li>②</li> <li>②</li> </ul>

# 8. データ転送

#### 8. 1 SIF-302C

# 8.1.1 シリアルインターフェース仕様

SIF-302Cにはシリアル転送用としてUSART が用いられており、表 10 に示すようなRS-232C 標準仕様となっています。

表10 RS-232Cインターフェース仕様

	<b>仕</b> 様
通信方式	半二重通信方式
通信速度	4800,2400,1200,600,300,150
	bps(ディップスイッチにて選択)
同期方式	調歩式
キャラクタ長	8ビット
クロック	6.4.倍
ストップピット	2 ピット
パリティ	ナシ
エラー検出	オーバ・ラン, フレーミングエラー
伝 送 方 式	バイナリーフォーマット
コネクタ	DB-258(日本航空電子工業㈱製)相当品
適合プラグ	DB-25P( // )相当品
適合セル	DB-C2-J9 ( // )相当品

- \*1 ROM ライターとのシリアル転送用プログラムは、TR4941(タケダ理研工業株 式会社製)を対象としています。
- \*2 パーソナルコンピュータ側のプログラムとして、HC-20(エプソン株式会社製)を用意して有ります。

#### 8.1.2 NDS-302C初期設定

SIF-3020を用いてデータの転送を行なった場合、表11に示すように、その使用方法によって、プログラムモードを選択することが必要です。

Mark Francis

Æ ~	ド選択	<del></del> 設定			,	
	SW1		構	成	内	容
PR1	PR2	PR 3				
	OFF	OFF	3020 - SIF	IDI-302C	編集モードにおいて で入力したパラメー ムを ROM ライタに ことができる	タ及びプログラ
	ON	OFF	302C L- SIF-	IDI-3020]	編集モードにおいて とパラメータ、プロ 行うことができる またMDI-302Cを よりプログラムの編	グラムの転送を 装着することに

表11 モード設定

# 8.1.3 SIF-302C取扱い説明

# (1) 取付け

SIF-302CはNDS-302Cの基板上に3本のプリント基本スペーサーで取付けられ、本体とはコネクタで直接連結されます。

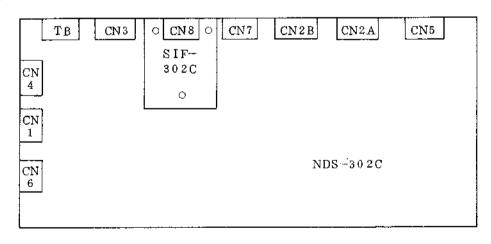


図 8. SIF-302C取付け

# (2) SIFコネクタCN8配線

各交信信号は表 12 に示すよりな配置に設定されています。ハンドシェイクの交信で各信号を、外部で、切替えられない場合、SIF-3020内部のシャンパ線によって内部で切替えることができます。出荷時はTR4941接続となっています。

表12 シリアルインターフェース信号名称

ピン16.	信号名称	内	容
1	FG	フレーム,グランド,保護シー	ルド接地
2	TXD	送信データ出力(RS-2320	レベル )
3	RXD	受信データ入力( "	)
4	RTS	送信要求出力 ( "	)
5	стѕ	送信可能入力 ( "	)
6	DSR	送受信可能入力( "	)
7	SG	信号グランド	•
2 0	DTR	送受信可能出力( "	)

表13 信号切替例

	-
ピンル	TR4941接続
2	RXD O TXD O J 1
3	TXD O RXD J 2
6	DTR O DSR J 3
2 0	DSR O DTR O J 4
5	RTS O CTS O J 5
4	CTS C RTS J 6

表14. 外部接続例

	· 接		
ハンドシェーク有	NDS-302C	外部	
	CN8	RS-232Cコネクタ	
	FG 1		
	TXD 2\$-	2 TXD	
	RXD 3 \$	3 · RXD	
	RTS 4	4 RTS	
	OTS 5	of CTS	
	DSR 6	6 DSR	
	SG 7\$	7 SG	
	DTR 2 0	20DTR	
	<u> </u>		
ハンドシェーク無	1	外部	
	FG 1\$	<b>1</b>	
	TXD 2		
	RXD 3	$\longrightarrow$ $\bigcirc$ 3	
	RTS 4	<b>\rightarrow</b> 4	
	CTS 5	<b>\rightarrow</b> 5 \cdot \c	
	DSR 6	<b>\rightarrow</b> 6	
	SG 7	———	
	DTR 2 0	<b>\frac{1}{2}0</b>	
	1		<u> </u>
NDS = 302C	NDS-302C	TR4941(	タケダ理研)
&	FG 1 \$		
TR4941	TXD 2	√	
( 標準接続 )	RXD 3	^ø3	į
	RTS 4	<b>√</b> 4	
	CTS 5	<b>√</b>	
ļ	DSR 6	<b>√</b> 6	
	sG 7∲	<b>√</b> 7	
	DTR 2 0	20	
	- <u> </u>		

# 8.1.4 SIF-302CとROMライター接続取扱説明

(1) ディップスイッチの設定(電源投入前に設定する)

NDS-302C側

SIF上にあるCLOCKスイッチの4800をON側にして、ボーレートを 4800ボーに設定 注)同時に2個以上のスイッチをONしないで下さい。

CLOCK

OFF ON

4800
2400
1200
600
300
150

ROM ライター側 (TR4941)

校正ポリューム・カバー内のロータリディップスイッチを下記の通りに設 定

$$\begin{cases}
BAUD & \cdots & 5 \\
WORD & \cdots & 5
\end{cases}$$

# (2) 操作方法

編集モード中表 15 に示す操作によりパラメータデータとプログラムデータに対して ROM への書き込みと ROM からの読み込みができます。

表 15. ROMへの書き込みとROMからの読み込み操作

ROMへの書き込み	ROMからの読み込み
1. ROM ライターに消去されたROM (M5 L 2 7 6 4 相当品)をセット	<ol> <li>ROM ライターにパラメータデータ とプログラムデータが書かれたROM (M5L2764相当品)をセット</li> </ol>
2. MDI-302Cにより書き込み開始 セット  F1書き込みモード設定  SAVEブリンク表示  WR書き込みモード開始 (他キーを押した時 はモードをキャンセ ルする)  SAVE表示(ブリンク解除)	<ul> <li>2. MDI-302Cにより読み込み開始セット         <ul> <li>キット</li> <li>F2読み込みエード設定</li></ul></li></ul>
3. ROMライターをリモートモードに セット RESET SELECT C	3. 同 左
<ul><li>4. 終了表示</li><li>S-PASS 転送完了</li><li>E(エラーNO) エラー発生</li></ul>	<ul><li>4. 終了表示</li><li>L-PASS 転送完了</li><li>E(エラーNO) エラー発生</li></ul>
5. 終了表示解除 任意のキーを押す	5. 終了表示解除 任意のキーを押す

注)書き込みモード時又は、読み込みモード時においては CL キーは、キャンセルキーとして有効

## 8.1.5 SIF-302Cとマイコン接続時の取り扱い

パラメータ・プログラムのデータ入出力は、8.1.5項1)のパラメータ・プログラムの入出力フォーマットにより行なわれます。

入出力を行なり場合は、8.1.5 項 2) の操作を行ない、NDS-302C をマイコンとの 交信可能状態にした上で8.1.5 項 3)のマイコンからのコマンドにより、データ転送を行います。

マイコンとのコマンドによる交信例が8.1.5項4)に示されていますので参考にして下さい。

1) パラメータ・プログラムの入出力フォーマット

パラメータ・プログラムのデータは表16のマイコン指定アドレスが各パラメータ、各ステップエリアに対応する為そのエリアに表17、表18のデータフォーマットで入出力を行います。

表16 マイコン指定アドレスとパラメータ、プログラムエリア対応表

指定 BYTE		··· <del>7.</del>		指定	 ミア	ドレ	スかり	うの BY	TE NO		<u> </u>	7
アトレス NO (HEX)	0	1			2		3	4	5	6	7	-
0	最高。	<del> </del>   波	数	(	ΡO	1)		手 動	L 速 度	<u> </u>	(P02)	<u>_</u>
8	原点復	帰速	度	(	ΡO	3 )		原点復	帯クリー:	プ速度	(P04)	/     フ )     オ
1 0	自動	速	度	(	P 0	5)		加 滅 3	恵 時 間		(P06)	)
18	フィー	ドバッ	ク楽	<u>ĸ</u> (	Ρ0	7)		指令	倍 率		(P08)	リ ト ト
2 0	表示:	分割	率	(	P 0	9)		バックラ	ラッシュ)	加算	(P10)	は   表
2 8	ルーブ	ゲイ	ン	(	P 1	1)		]			(P12)	1.7
3 0	浮 動	原	, <del>L</del>	ŧ (	P 1	3)		ホール	ド時滅速の	寺間	(P14)	· 参
38								I	· ··		······································	
4 0				ス	 テ	ッ フ	NO.	(	)	·		1
4 8						"		1				
5 0						//		2	2			
5 8						"		3	;			
6.0						//		4	:			フォ
68						//		5				
	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~											"
1 F 5 0	<del>- "</del>			ス	テ :	ッ <i>フ</i> ゙	NO	9 9	5			は表
1 F 5 8					,	,		9 9	6			18
1 F 6 0					,	7		9 9	7			照
1 F 6 8					,	1		9 9	8			
1 F 7 0					,	7		9 9	9			
1 F 7 8												
1 F 8 0												
1 F 8 8												
1 F 9 0												
1F99												
		<del>_</del>					<del></del> _					
1 F F 8										- <u>-</u> -		
1 F F 0												
1 F F 8												

注)空白は、任意のテータが入る。

表17 パラメータデータフォーマット

			デ - タ 型 式						
項目	指定 アドレス ビットー	0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7	0,1,2,3,4,5,6,7 0,1,2,3,4,5,6,7 0,1,2,3,4,5,6,7						
	(HEX) バイト	0	1 2 3						
最高周波数	0	0 0	$10^{0}$ $10^{1}$ $10^{2}$ $10^{3}$ $10^{4}$ $10^{5}$						
(P01)			下位 BCD 0~300000 上位						
手動速度	4	0 0	$10^{0}$ $10^{1}$ $10^{2}$ 0 0						
(P02)			BCD 1~256						
原点復帰速	8	0 +/-	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$						
(P03)			BCD 1~256						
原点復帰ク リープ速度	С	0 0	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$						
(P04)			BCD 1~256						
自動速度	1 0	0 0	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$						
(P05)	1 0		BCD 1~256						
加減速時間	1 4	0 0	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$						
(P06)		BCD 0~3000							
フィード バック率	1 8	0 0	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$						
(P07)	- 0		BCD 1~262144						
指令倍率	1 C	0 0	100 0 0 0						
(P08)		,	BCD 1,2,4						
表示分割率	2 0	0 0	100 0 0 0 0						
(P09)		BCD 1 2,4,8							
バックラッ シュ 加 算	2 4	0 0	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$						
(P10)			BCD 0~256						
ループゲイン	2.8	0 0	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$						
(P11)			BCD 0~100						
完了信号出力 タイミング	2 C	0 0	100 101 0 0 0						
(P12)	1		BCD 0~15						
浮動原点	3 0	0 +/-	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$						
(P13)			BCD 0~999999						
ホールド時滅速時間	3 4	0 0	$\begin{array}{c ccccccccccccccccccccccccccccccccccc$						
(P14)	J 1		BCD 0~3000						

注) +/-: データが+の時 " O "、データが一の時 " F(HEX) " である

Transport and the

		····		<del></del>	ş				
項 ビット	0,1,2,3,4,5,6,7	0,1,2,3,4,5,6,7		0,1,2,3,4,5,6,	-			01234567	01234562
B 741	0	1	2	3		4	5	6	7
早 送 り	0 0	INC/ ABS +/-	100 101	102 103	1.04	1 0 <sup>8</sup>	-		
(G0)	G = - 1º		下 <u></u> 下位	5 令 値	(X)	<del></del> 上位	·	<u></u>	
切削送り	1 0	INC/ ABS +/-	100 101		1 04		100 101	1 02 0	0 0
(G1)	G = - F		#	旨令 値	(X)		7	·····································	<del>''</del> ?)
ドウエル	4 0	100 101	$1.0^2   1.0^3$	0 0					,
(G4)	G = - k	時間	(r)		<i>j</i>				
繰り返し	6 0	100 101	1 02 1 03	0 0					
(G6)	G = - 1°	<u> </u>	」回数RD		,				
連続送り	1 1	INC/ ABS +/-	100 101	$1 0^2   1 0^3$	1 04	108	10° 10°	102 0	0 0
(G11)	G = - 1°			令 値	X)	·;	Č.	速 度 化	ַ <u></u>
原点復帰	8 2	+/-					100 101		0 0
(G28)	G = - K	_		<del>-</del>			<del></del>	E EE EF	
補助出力 1.	5 6	100 101	0 0	0 0					<del>'</del> .
(365)	G = - F	補具	助出 カコード(	V0					
補助出力 2.	6 6	100 101	0 0	0 0		1			
(G66)	0 = - k	補身	め出力コード(	VD					
サブルーチン コ ー ル	8 6	$1 \ 0^0  1 \ 0^1$	102 0	0 0					· · · · · ·
(G68)	G = - k	,	テッフ <b>ル</b> N		·	Д.			
無条件	9 8	100 101	1 02 0	0 0				·· .	
(G89)	G = - 1		テップ KG(N)			•	<del></del> . 1	· 1	
デイジスイッ チ 選 択	0 9	INC/ ABS					100 103	102 0	0 0
(G90)	Ga-k					- '(	速		
条 件 ジャンプ	1 9	1 00 1 1 01	10 <sup>2</sup> 0	0 0	·		Ī		·
(G91)	Ga-k		テップ 16 [N]				<del></del> .	<u> </u>	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·
リターン	8 9			-					
(098)	G=- k		-	,,					
プログラムエンド	9 9								
(G99)	<u>G = - k</u>							<u></u>	
NOP	F F								
(GFF)	G = - 1° :	*使用していた	ないステップ!	よこの項目と	なる			<del></del>	
外部指令選択	5 2			i	-	· T			
(G25)	G = 1.				_	<u>-</u>	<u>-</u>	<del></del>	·
寸 動	4 2	1/-				` <u>-</u>	1 00 1 01	0 0	0 0
(G24)	G = - k						<del></del> : <u></u> 蔜	度 (F)	<del></del>
再スタート	9 7							·	
(G79)	G = 1		· <u>-</u> -		_				

- 注) 1. 空欄は、任意のデータが入る
  - 2 INC/ABS(+/-):データがINC(+)の時"0"、データがABS(--)の時"F(HEX)"である
  - 3. X, F, N, M, Tのデータは、全てBCDコードである
  - 4. ビット構成はビットの:最下位ビット(LSB)、ビット7:最上位ビット(MSB)である。

# 2) 操作方法

NDS-302Cとマイコンだけを接続した場合、編集モードで交信可能となりま す。

また、MDI-302Cが接続されている場合、編集モード中で下表の操作により、 交信可能となります。 表19 シリアル転送準備

操作番号	操作
1	F1 又は F2 のキーを押す
2	[S-µCON]フリッカ表示
3	WR キーを押す
	(他キーを押した時は、前操作をキャンセルする)
4	S-μCON 表示し交信可能

- 注)交信可能状態において CL キーは、キャンセルキーとして有効
- 3) マイコンからのコマンド

表20亿一覧表と、表21亿使用されるキャラクタのコード対応表を示します。

表20 マイコンからのコマンド一覧表

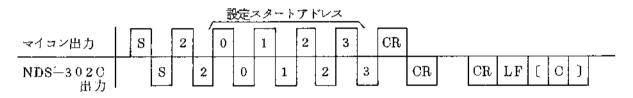
機	能	コマンド型式	内 容
スタート	アドレス	S 2	データ転送時のスタートアドレスを設定する
設	定	S 2 TFVX CR	交信開始時0亿設定される
ストップ	アドレス	S 3 Zhy7 CR	データ転送時のストップアドレスを設定する
設	定	S   S   アドレス   OR	交信舅始時1FFFに設定される
シリアル	データ	S 6 CR	シリアルレポートから入力したデータをスタ
入	カ	B 0 010	ートアドレスよりメモリーに格納する
シリアル	データ	s 7 CR	シリアルレポートから入力したデータをスタ
ベリフ	ァイ	5 1 010	ートアドレスのデータより比較する
シリアル	・データ	S 8 CR	スタートアドレスのデータよりシリアルレポ
出	力	3 8 010	ートへ出力する
デ ー タ	交信	S C CR	マイコンとのデータ交信を解除し MDI から
解	除	5 0 016	のデータ入力を許可する

表 21 コマンドキャラクタと返信キャラクタのコード対応表

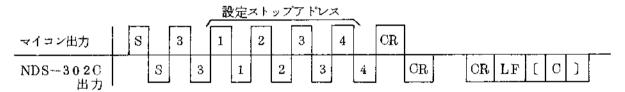
キャラ	コード								
1 9	(16進)	ク タ	(16進)	ク タ	(16進)	2 8	(16進)	クタ	(16進)
0	3 0	5	3 5	A	4 1	F	4 6	(	5 B
1	3 1	6	3 6	В	42	S	53	)	5 D
2	3 2	7	3 7	С	4 3	SP	2 0	#	23
3	3 3	8	3 8	D	4.4	CR	0 D		
4	3 4	9	3 9	E	4.5	LF	0 A		

# 4) マイコンとの交信例

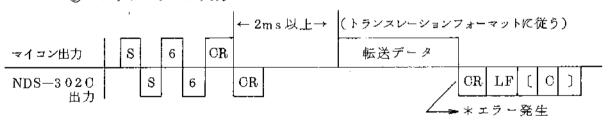
## ① スタートアドレス設定



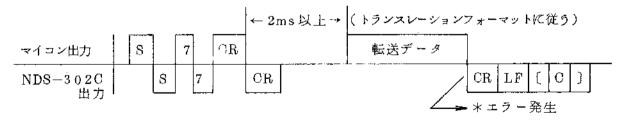
#### ② ストップアドレス設定



## ③ シリアルデータ入力



#### ④ シリアルデータベリファイ

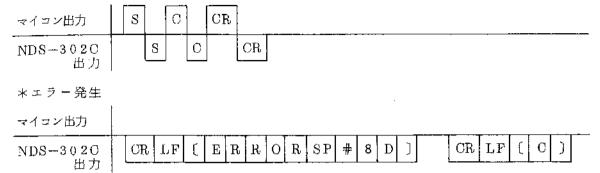


# ⑤ シリアルデータ出力

マイコン出力	S		8		$\mathbf{CR}$									
NDS-302C 出力		8		8		CR.	転送デー	b.	CR	LF	Ĺ	С	)	

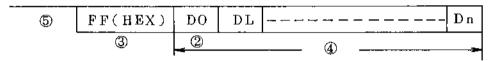
(トランスレーションフォーマットに従う)

# ⑥ データ交信解除

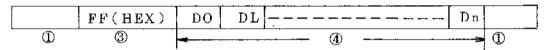


5) トランスレーションフォーマットの説明

トランスレーションフォーマットはDG バイナリ・フォーマットの使用します。 マイコン→NDS-302Cのデータ転送



NDS-302C→マイコンのデータ転送



- ① 出力時データ・レコードの前後に100キャラクタのNULLコードを出力します。
- ② データ(DO~Dn)は、バイナリ・データ
- ③ データ認識コードはFF(HEX)です。
- (4) スタートアドレスからストップアドレスまでのメモリーデータ長となります。
- ⑤ 入力時においてデータレコードの前にデータを転送する場合は、FF(HEX) 以外のデータを転送します。

#### 8.2 PIF-302C

NDS 3020にオプションのPIF-3020を装着することにより、外部マイクロコンピュータとのパラレルデータの交信ができます。

またパラレルインターフェースではプログラムやバラメータの転送の他に即値入力モード(8.2.3項4))で動作させることができます。

# 8.2.1 パラレルインターフェース仕様

パラレルインターフェースには、フォトカプラによるアイソレーション仕様とオープンマレクタ仕様があり、アイソレーション仕様では、さらに I/F ドライバーを付けることによりTTLレベルで送受信することができます。

PIF-302C1 PIF-302C2 PIF-302C3 通信方式 パラレル12BIT П 左 パラレル12BIT 入 出 力 バストランス オープンコレクタ アイソレーション 入力:アイソレーション **₹**+5 入出力構成 出力:TTLレベル +5VM53206 M53206 ❷出力 COM +5+24COM TC 4584 通信形式 パリティー付ASCII-띠 左 8 B I T 伝送路 離 SIF-302C3との組合わ 1 • 5 m max アイソレーション側:同左 ⊎10m max TTL侧 1.5 m max

表 2 2 PIF-302C仕様

#### 8.2.2 NDS-3020初期設定

PIF-3020を用いてデータの転送を行なう場合表 23 に示すように、その使用方法によって、プログラムモードを選択することが必要です。

表 23 モード選択

-ŧ-	ド選択 SW1 PR2	設定 PR3	構	成	内	容
OFF	OFF	ON	NDS - 302C PIF- 302C	MDI- 302C	または外部マイ 一タを入力し、	いてMDI-302C イコンより、パラメ 自動モードにおい り即実行データを入
ON	OFF	ON	NDS 302C PIF- 302C	MD I - 30 2C ]	ンとバラメー? を行うことが	いて、外部マイコタプログラムの転送できる。またMDIートることによりプロ

# 8.2.3 PIF-302C取扱い説明

# 1) 取付け

PIF-302C1及びPIF-302C2はNDS-302C の基板上に3本のプリント 基板スペーサで取付けられます。

またPIF-302C3 についてはPIF-302C2 とセットで使用することにより 長距離 $(10\,\mathrm{m}\ \mathrm{max})$ の伝送が可能です。

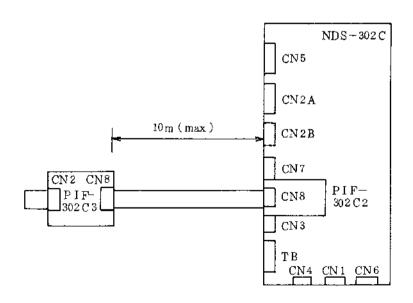


図 9. PIF-302C取付け

# 2) バラレルデータ交信信号

o 入出力データ(JDO~ID7, ŌDO~ŌD7)

交信データはASCIIコード7BITにパリティビット1BITを加えた 8 BITで行ないます。

( ただしパリティーは奇数パリティー)

#### o コントロール信号

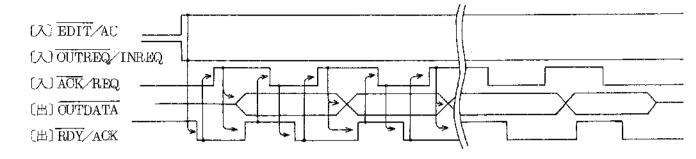
バラレル出力口では交信データの他に表24のようなハンドシェイク のためのコントロール信号が用意されています。

表 24 パラレルデータコントロール信号

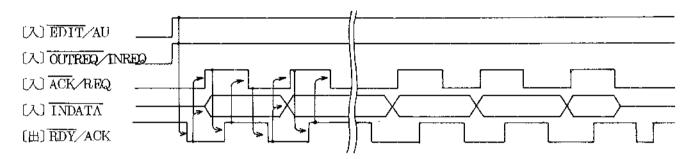
		内	容
	信号名称	データ入力時	データ出力時
	ACK/REQ	ACK:入力データセット準備中	AOK:データ認識完了
入		REQ:入力データセット完了	REQ:データ出力要求
	OUTREQ/INREQ	INREQ(H) Kty >	OUTREQ(L) Kt + y +
カ			,
ļ	EDIT/AU	実行中のモード(編集、自動)入力	同 左
出	RDY/ACK	RDY:データ人力許可	RDY:出力データセット準備中
カ	'	ACK:入力データ認識完了	ACK:出力データセット完了

## (3) データ交信タイムチャート

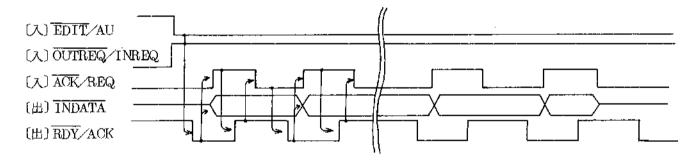
#### 現在位置データ出力(自動モード中)



即値データ入力(自動モード中)



プログラムパラメータ入力(編集モード中)



プログラムパラメータ出力(編集モード中)

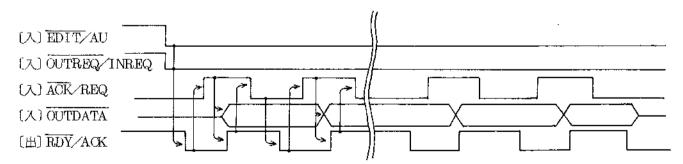
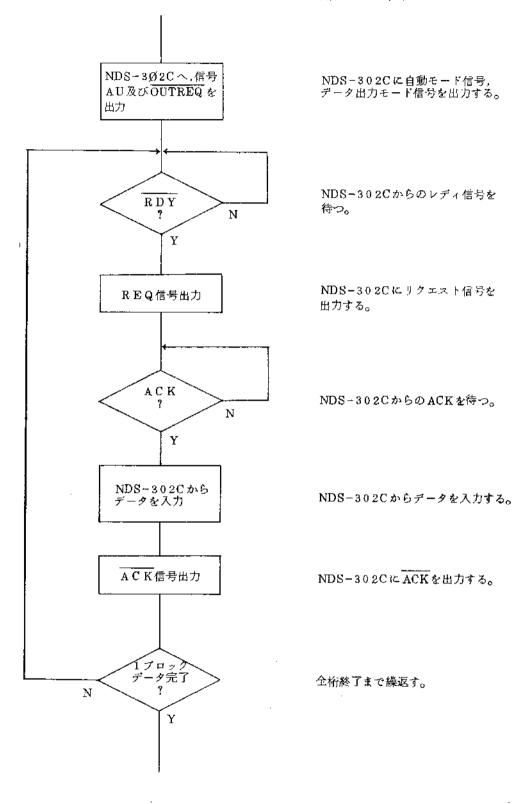
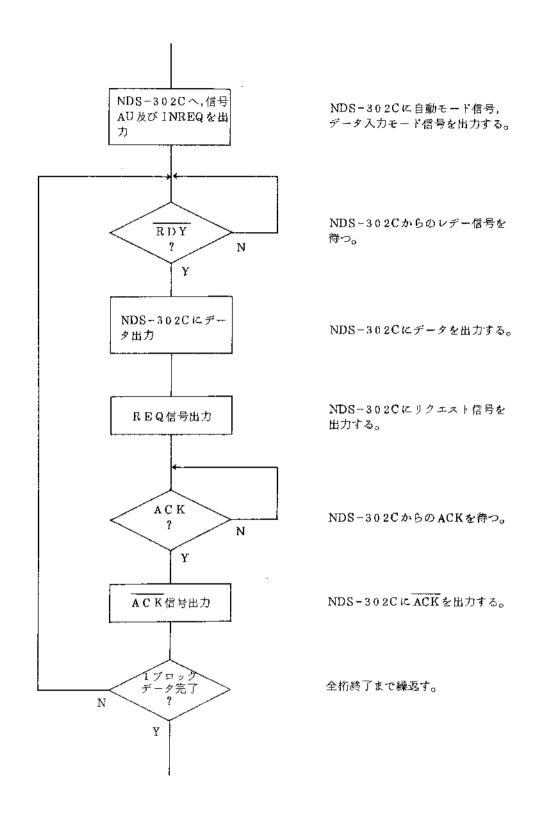


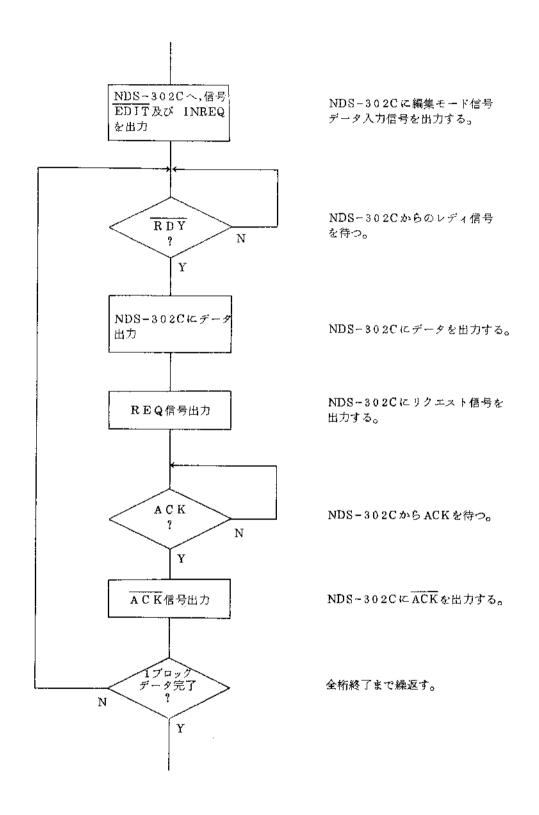
図10. パラレルデータ交信タイムチャート

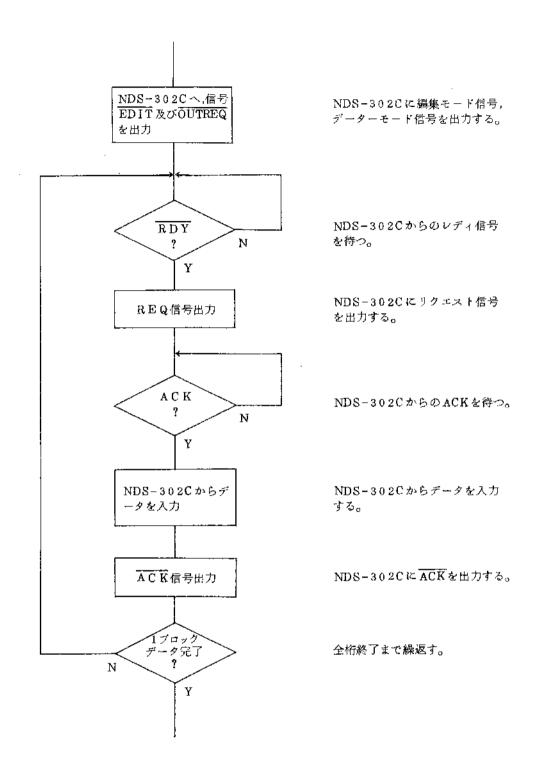
## 4) データ交信のフローチャート

NDS-302Cからの現在位置データ出力(自動モード中)









# 5) 交信データフォーマット

a. 現在位置データ出力フォーマット

<sup>+</sup>∕ 10° 10¹ 10² 10³ 10⁴ 10⁵ CR

- ○符号、データはすべて7ビットASCII、奇数パリティーで交信します。
- b. 即値データ入力フォーマット(注1)

即値データで実行可能な準備機能を裹 25 に示します。またデータの交信はすべて7BIT ASCIIで行ないます。

(7ピットASCII) データ型式 Ħ 項 A 10° 10° 10° 10° 10° 10° 10° 0R 早 送 (G<sub>0</sub> 0) LSB× 設定値 MSB G記号 「A:アプソリコート L I : イニクリメント - 方向  $0 + \frac{\Lambda}{10^{\circ}} 10^{\circ} 10^{\circ}$ 切削送り Х 上上位 (G01) 一下位  $0 \mid 10^{\circ} \mid 10^{1} \mid 10^{2} \mid 10^{3} \mid CR$ (304)2 1 10° 10° 10° 10° CR 原点復帰 (G27) 6 10 ° 10 1 CR 補助出力1 (G65) 10 ° | 10 1 | CR 補助出力2 G (G66) $10^{0}$   $10^{1}$   $10^{2}$  GR ディジスイッチ選択 (G90)

表25 即値実行可能動作とフォーマット

注1) 自動モードにおいて、実行データを1プロックずつ入力しながら動作するもので1プロックのデータを即値データと呼ぶ。

# c. パラメータ、プログラム入出力フォーマット

バラメータ及びプログラムの転送は、表 26、27のデータフォーマットで行ないます。MDI-302C が装備されている場合は、キー操作により、装着されてない場合は、編集モードに設定することにより転送可能の状態になります。

転送は外部からの要求で開始され、必ずバラメータの先頭から始まり、エンドコード E CR で終了します。

表26 パラメータ転送フォーマット

	26 ハフメータ 転达フォーマット
項 目	データ 型 式 (7ビットASOII)
最 高 周 波 数	P 1 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10
( PO1 )	P NO BOD 6 桁
手 動 速 度	P 2 0 10° 10¹ 10² CR
( PO2 )	1 ~ 256
原 点 復 帰 速 度 ( PO3)	P 3 0 + 10 10 10 10 10 CR
原点復帰クリープ速度	P 4 0 10 10 10 10 10 CR
(PO4)	
自 動 速 度 (PO5)	P 5 0 10° 10° 10° CR
加減速時間	P 6 0 10° 10¹ 10² 10³ CR
(PO6)	1 0 0 10 10 10 10
フィードバック率 (PO7)	P 7 0 10° 10° 10° 10° 10° 10° 10° CR
指令倍率	P 8 0 10 CR
(PO8)	
表示分割率 (PO9)	P 9 0 10 <sup>2</sup> CR
バックラッシュ加算	P 0 1 10° 101 102 CR
(P10)	
ル - ブ ゲ イ ン (P11)	P 1 1 10 0 10 1 10 2 CR
完了信号出力タイミング	P 2 1 10° 10¹ CR
( P 1 2 )	1 2 1 10 10 010
俘 動 原 点 設 定	P 3 1 + 10° 10¹ 10² 10³ 10⁴ 10⁵ CR
(P13)	
ホールド時滅速時間	P 4 1 10° 10: 10° 10° CR
(P14)	

表27 プログラム転送フォーマット

項目	データ 型 式 (ASCII)
早送り	0 0 +/_ A/I 10 0 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 1
(G00)	G X
切 削 送 り	$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$
(G01)	G X F
連続プロック送り	$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$
(G11)	G X F
9 1 7	$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$
(G04)	G T
繰り返し	$\begin{array}{ c c c c c c c c c c c c c c c c c c c$
(G06)	G R
原点復帰	$7 2 + 10^{\circ} 10^{\circ} 10^{\circ} CR$
( G 2 7 )	G F
補 助 出 力 1	5 6 10° 10¹ CR
(G65)	G M
補助出力2	6 6 10° 10¹ CR
( G 6 6 )	G M
サブルーチンコール	8 6 10° 10¹ 10² CR
(G68)	G N 9 8 10° 10 1 10 2 CR
無条件ジャンプ (G.89)	G N
ディジスイッチ選択	0 9 10° 10¹ 10² CR
(G90)	G F
条件ジャンプ	1 9 10° 10¹ 10² CR
( G 9 1 )	GN
リ タ ー ン	9 8 CR
(G89)	G
プログラムエンド	9 9 CR
(G99)	G
N O P	F F CR *使用していないステップはこの項目となる。
エンドコード	E CR
リターンコード	Q E CR

項目	データ型式 (ASCII)
外部指令選択	5 2 CR
(G25)	G
寸 動	4 2 10° 10¹ 10² CR
(G24)	G F
再スタート	9 7 CR
(G79)	G

# 5) パラレルインターフェース接続

各伝達信号は表28に示すような配置に設定されています。

表 28 PIF-302Cコネクタ結線表

	信号名	PIF-302C1 CN8	PIF-302C2 PIF-302C3 CN 8	PIF-30203
		C N 8		
	T D Ø	1	1	A 4
	I D 1	2	2	B 4
	1 D 2	3	3	A 5
人	I D 3	4	4	B 5
	I D 4	1 3	1 3	A 6
	I D 5	1 4	1 4	B 6
	I D 6	1 5	1 5	A 7
カ	1 D 7	16	16	В 7
	ACK/REQ	2 3	23	A 8
	OUTREQ INREQ	2 4	2 4	B 8
	EDIT/AU	2 5	25	A 9
		26	26	В 9
	O D Ø	6	6	A 1 1
ļ	O D 1	7	7	B11
	O D 2	8	8	A 1 2
出出	O D 3	9	9	B 1 2
	O D 4	1 7	17	А13
	O D 5	1 8	18	B13
	O D 6	1 9	19	A 1 4
ー	O D 7	2 0	20	B14
-	RDY/ACK	2 7	2 7	A15
ļ		2 8	28	B15
		2 9	29	A 1 6
		3 0	3.0	B16
	v c c		(+24)10.22.32	(+5) A 1. B 2
	GND	1 1.3 3	1 1.3 3	A 2. B 2
	E	1 2.3 4	1 2.3 4	

- 6) 現在位置、即値の交信可能にする操作 自動モード中で現在位置、即値の交信可能となります。
- 7) バラメータ、プログラムの交信可能にする操作 NDS-302C とマイコンだけを接続した場合編集モードで交信可能となります。 また、MDI-302C が接続されている場合編集モード中で下表の操作により交信可能となります。 表 29 パラレル転送準備

番号	<b>操</b> 作
1	F1 または F2 のキーを押す。
2	[P-#CON] ブリング表示
3	WR キーを押す (他キーを押した時は前操作キャンセル)
4	[P-μCON] 表示し交信可能

注) 交信可能状態において CL キーは、キャンセルキーとして有効

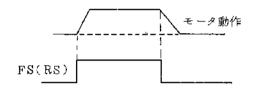
# 9. 運 転 動 作

バラメータが設定された状態で手動、自動モードに切り替えることにより、起動入力 (ZR、FS、RS、AUST)が有効になります。

# 9.1 寸動動作

手動モード(MU)を選択し、正転起動(FS)を入力すると信号が入力されている 間のみモータは正転し、入力をOFFにすると停止します。

逆転起動(RS)をONにするとモータは逆転します。



回転速度はパラメータ(P02)

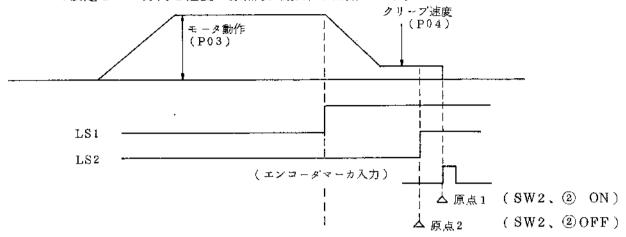
で設定された速度になります。また入力(MUSP)を入力する事により外部からの速度 設定ができます。

表 3 0 外部速度入力設定值

記号	コネクタ 番 号	設 定 速 度
F10	CN2A-27	
F20	CN2A-28	$\mathbf{F} = 256 \frac{(\mathbf{F} 10 \times 2^{0} + \mathbf{F} 20 \times 2^{1} + \mathbf{F} 40 \times 2^{2} + \mathbf{F} 80 \times 2^{3})}{10}$
F40	CN2A-29	1
F80	ON 2 A - 30	(分解能は <u>1</u> )

## 9.2 原点復帰(手動モード)

手動モード(MU)を選択し原点復帰起動(ZR)をONにするとバラメータ(P03)で設定された方向と速度で原点復帰動作を開始します。



減速度用リミットスイッチLS1を入力するとパラメータ(P04)で設定された速度 まで減速します。

LS1が入力されたままの状態で、原点用リミットスイッチLS2が入力されると次。 ぎに発生するエンコーダマーカ信号で停止し原点復帰動作完了となります。

\*内部ディップスイッチの設定により原点用リミットLS2を原点とすることもできます。

表 3 1 原 点 選 択

SW2	内容
0 N	LS1、LS2入力後のエンコーダマーカーが原点
OFF	LS1入力後のLS2が原点

# 9.3 プログラム運転

## 9.3.1 プログラムモード選択

MDI-302 Cまたは外部マイコンより入力されたプロクラムは自動モードにおいてプログラムモードを設定することにより実行可能となります。

スタートアドレスはCN7 より入力

SW-1スタートアドレス 内 容 PR1 PR2PR3 OFF OFFOFF 内 部 指 定 MDI…3020によりスタートアドレスを指定 プログラムはMDI-302Cの操作により ONOFF OFF 外 部 指 定 入力、スタートアドレスはCN7より入力 OFF ON OFF 内 部 指 定 プログラムはSIF-302Cにより転送 プログラムはPIF-302Cにより転送 ONOFF ON外部指定

表32 プログラムモード

プログラムのスタートアドレスは、内部指定と外部指定があり、それぞれ編集モードが 解除された時に確定します。

注) 自動モードの途中で変更することはできません。

内部指定:MDI-3020でプログラム入力後 N アドレス wn で指定

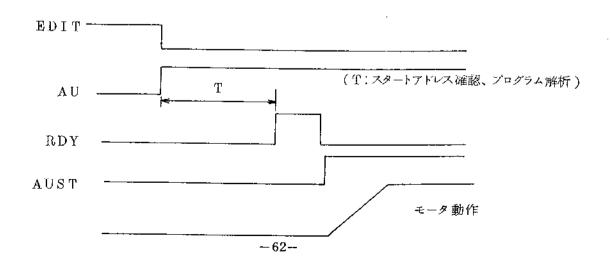
外部指定:コネクタ CN7 よりBCD3 桁で入力

#### 9.3.2. プログラム起動

起動準備完了信号 RDY(CN2 B16)が出力されていることを確認後

自動起動 (AUST)を入力する事によりプログラムがスタートします。

編集モードが解除になってからRDYが出力されるまでの時間は実 行プログラムの長さによって異なります。



一度起動したプログラムはプログラムエンド(G99)が検出されるまで起動信号(AUST)なしで実行されます。

## 9.3.3 連続位置ぎめ機能(G11)

自動運転中モータの回転を停止することなく変速運転することができます。

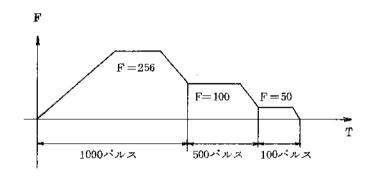
〔例〕

N000 G11 X1000 F256

N001 G11 X500 F100

N002 G11 X100 F50

N003 G99



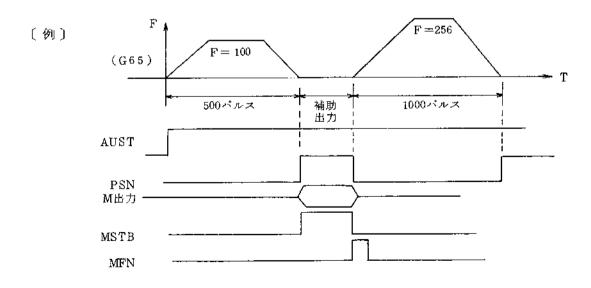
# 9.3.4 自動モード原点復帰(G27)

自動モードにおいてプログラム中で原点復帰動作ができます。

G27 F - 2 5 6 方向設定と初速設定

#### 9.3.5 補助機能出力(G65、G66)

自動モードにおいてブログラム中で補助機能が出力できます。

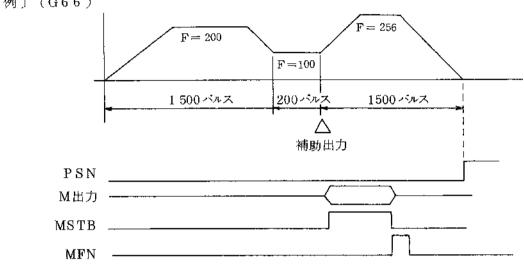


G65では完了入力MFNが次のプロックの起動信号となります。

N000 G01 X500 F100 N 0 0 1 G 6 5 M 5 5 N002 G00 X100

〔例〕(G66)

N003 G99



G11 X1500 F 2 0 0 N 0 0 0 X 2 0 0 F100 N001 G11 N002 G66 M 4 4 N003 G11 X1500F 2 5 6 N 0 0 4 G99

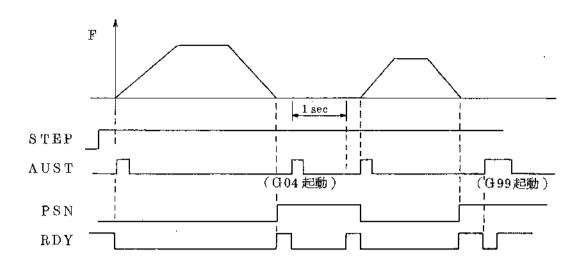
G66ではM完了入力に無関係に次のプロックが起動し、MFN入力は任意のタイミン クで入力することができます。

#### 9.3.6 ステップ動作(STEP)

自動運転においてSTEPを入力する事により連続プロック動作(G11) を除くすべ てのプロック間で停止し、自動起動で運転を再開します。

注) G04、G65などの位置ぎめ動作以外の命令でも自動起動の操作が必要です。

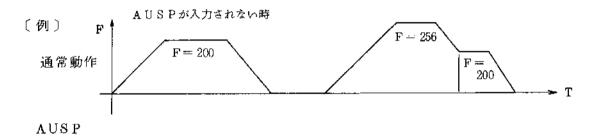
N000 G00 X1000 N001 G04 T100N002 G01 X500 F200 N003 G99

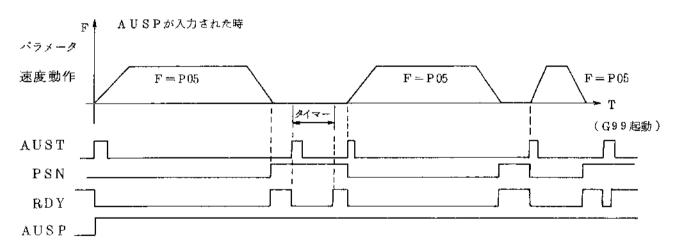


## 9.3.7 自動速度選択(AUSP)

自動運転においてAUSPを入力する事によりすべての移動動作における速度がバラメータ( P05)の設定値におきかわる。

注)連続プロック動作はすべて単一プロックに分割されます。

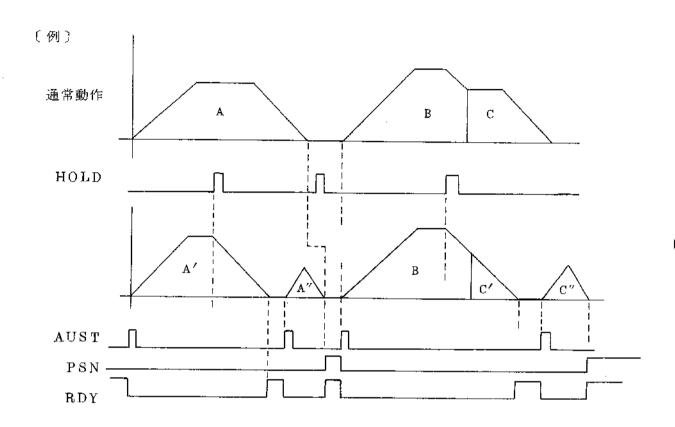




N000G 0 1 X 1 0 0 0F200N001G04T 1 0 0N002G11X1000 F256 N003G11X 5 0 0 F 2 0 0 N 0 0 4 G99

# 9.3.8 ホールド入力 (HOLD)

自動運転中HOLDを入力する事により実行中の動作を一時中断させる事ができます。 再起動は自動起動の操作を行ないます。



$$A = A' + A''$$
  
 $C = C' + C''$ 

# 9.4 即値データモード(自動モード)

自動モードにおいて即値データモードに設定する事により外部マイコンからの単一プロック動作が可能となります。

(可能な動作およびフォーマットは 8.2 PIF-302Cの項を参照してください。)

表33 スイッチの設定

	S W 1		内	容	
PR1	PR2	PR3	外部入力による単一プロック動作		
OFF	OFF	ON	外部人刀による単- 	ープロック動作	

# 9.5 その他の信号入力動作

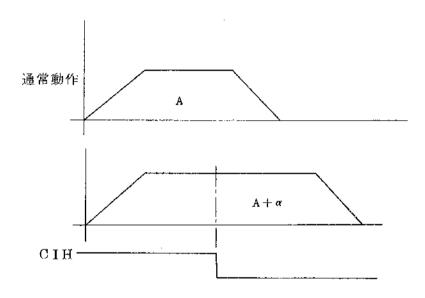
# 9.5.1 パルス列入力(PSL)

編集、手動および自動モードが解除されている状態で PSL を入力することにより外部パルス列を入力する事ができます。

入力準備が完了すると、LED IHが点灯し、RDY信号が出力されます。

# 9.5.2. カウント禁止入力(СІН)

自動運転中CIHを入力すると指令値カウンタの減算が停止し、位置決め距離が相対 的に引き延ばされます。



(αはCIH人力OFF時の偏差量)

## 9.5.3 パルス禁止入力(PIH)

PlHを入力する事により指令パルス(パルス列入力をふくむ)の偏差カウンターへの入力を禁止します。

(ただし、ON6コネクタのA8、A9への出力は禁止されません)

## 9.5.4 装置選択人力(SEL)

NDS-3020 を起動させるためには SEL が人力されなければなりません。 SELが入力されないと下記の人力信号が無効となります。

表34 SEL確認入力

装 置	選択入力
記号	名 称
EDIT	編集モード
AU	自動モード
MU	手動モード
ZR	原点復帰起動
AUST	自動起動
FS	正転起動
RS	逆転起動
CLD	表示クリアー
PSL	バルス列入力

# 9.5.5 オーバートラベル (FOT, ROT)

正方向および逆方向のオーバートラベルは自動モード、手動モードのすべての動作について有効です。

オーバートラベル信号が入力されるとMDI-302Cにエラーを表示し、内部はリセットされサーボドライバ入力をゼロとしてモータを強制的に停止させます。

機械の定位置に戻す場合は、原因を取り除き、手動モードに切り替えた後、入力されているオーバートラベルとは逆方向に起動させます。また、安全性からいずれのオーバートラベルが入力されてもモータはモータの回生方向とは無関係に停止します。

オーパートラベルが入力されている状態で可能な動作は手動モードにおいて、入力されているトラベルの方向とは逆方向の起動だけです。

信号は常時ONを入力してください。正、逆オーバートラベル信号が OFF によって動作しモータは停止します。

# 9.5.6 非常停止(EMG)

すべてのモードにおいて動作します。モータの動作中非常停止信号(EMG)が入力されると内部は初期状態にリセットされます。

復帰は自動起動、原点復帰起動、手動起動を OFF することで再び起動待ちの状態になります。

## 9.5.7 偏差クリアー(CLR)

すべてのモードにおいて有効に動作します。

CLRが入力されている間偏差カウンターはクリアーされサーボドライバーへのアナログ出力はゼロとなります。

停止は非常停止、オーバートラベルと同様に急停止しますが内部回路はリセットされ ず運転を続行します。

# 9.6 内部ディップスイッチ

NDS-3020の内部ディップスイッチは次のような設定内容となっています。

表35 内部ディップスイッチ

<del></del>			200 F		<del></del>
sw	No.	記号	名	称	内 容
	1	PRI			
	2	PR2	プログラ	ム選択	9.7プログラムモードを参照して下さい。
SW1	3	PR3			
	4	CTCL	表示クリ	ア選択	ON :インクレメント表示 OFF:アプソリュード表示
	1	A/B	相順	切 替	エンコーダフィードバックのA相B相の入替
	2	MК	マ — カ	) 選 択	ON :マーカ原点選択 OFF: LS 2 原点選択
SW2	3	<u>+</u> _	符号	選択	ON :表示符号 + 選択 OFF :表示符号 – 選択
	4	SIU	リニアスケー	-ル入力	ON :リニアスケールインターフェース入力 OFF:通常入力
SW3	1	RAM	RAM	選 択	ON:RAM選択 ROM選択

表 36 プログラムモード選択

(点線は選択)

	S W 1		構		rhi viz
PRI	PR2	PR3	1479	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	内 容
OFF	OFF	OFF	NDS- 302C SIF- 302C	MDI - 302C	<ol> <li>MDI-3020によるバラメータプログラムの入力</li> <li>SIF-3020とROMライターによるパラメータ、プログラムの転送</li> <li>MDI-3020によるプログラムスタートアレスの設定</li> </ol>
ON	OFF	OFF	NDS— 302C ON7 SIF— 302C	MD1 — 302C スタートアドレス 	<ol> <li>MDI-302Cによるパラメータ、プログラムの入力</li> <li>SIF-302CとROMライターによるパラメータ、プログラムの転送</li> <li>プログラムスタートアドレスの外部設定</li> </ol>
OFF	ON	OFF	NDS— 302C CN7 SIF— 302C	- MDI - 302C] スタートアドレス - マイコン	<ol> <li>SIF-302Cと外部マイコンによるバラメタ、プログラムの転送</li> <li>MDI-302Cによる入力、編集</li> <li>プログラムスタートアドレスの外部指定</li> </ol>
OFF	OFF	ON	NDS- 302C PIF- 302C	- MDI — 302C]	<ol> <li>PIF-302Cと外部マイコンによるバラメータの転送および現在位置データの転送</li> <li>MDI-302Cによる入力、編集</li> <li>自動モードにおける即値入力データの実行</li> </ol>
on	OFF	ON	NDS— 302C CN7 PIF— 302C	MDI - 302C   スタートアドレス 	<ol> <li>PIF-302Cと外部マイコンによるパラメータ、プログラムの転送および現在位置データの転送</li> <li>MDI-302Cによる入力、編集</li> <li>プログラムスタートアドレスの外部指定</li> </ol>

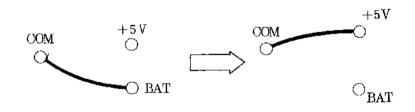
# 9.8 固定プログラム

MDI-302C または外部入力によって作成されたパラメータとプログラムは通常パッテリーにより保存されています。

しかし、パラメータおよびプログラムが完全に固定で変更がない場合にはプログラム格納領域のRAMをROMに置き換える事ができます。

方 法

- 1. ROM ライターに書き込まれていないROM (M5L2764K)をセットする。
- 2. ROM ライターに SIF-302Cよりパラメータプログラムを転送する。 (自動的に ROMに書き込まれます。)
- 3. NDS-302Cの電源をOFFにして、I C 9の RAM (MB8464 )をROM に交換する。
- 4. ディップスイッチSW3 ①RAMをOFFにする。
- 5. IC8の横にあるファストンを切り替える。
- ※ ROMライターは、TR4941(タケダ理研)にそのまま接続できます。



### 10. 状態表示機能

- 1. L E D
  - a) 制御入力信号確認用 L E D

SEL:装置選択

FOT:正転用オーバートラベル

ROT: 逆転用オーバートラベル

EMG:非常停止

b) 制御出力信号確認用LED

OF :偏差カウンターオーバーフロー

MSTB:補助出力ストローブ

RDY :起動許可出力

END :プログラムエンド出力

PW : 異常出力(ノーマルON)

PSN : 位置決め完了出力

c) 運転状態確認用LED

AUI:自動運転中

MUI:手動運転中

ZRI:原点復帰動作中

II :指令入力禁止中、バルス列入力は有効

OL :偏差クリア中、内部リセット中

F : 正転偏差

R : 逆転偏差

d) 偏差量確認用LED

1 偏差 2º バルス

2 偏差 2 パルス

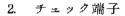
4 偏差 2² パルス

8 偏差 23 バルス

2048. 偏差 211 バルス

偏差パルスは LED 1、2、4、8 ……… 2048の点灯した LED の数値を加算し た値になります。

667 ns



CP1: クロックバルスA

CP2: クロックバルスB

CP3: 内部処理用パルス

**CP4** : 指令パルス

CP5 : パルスエンコーダA相(またはB相)パルス

CP6 ; バルスエンコーダB相(またはA相)

OP7: 偏差入力パルスP

CP8: 偏差入力パルスN

CP9:  $0 \sim 10 \text{ V}$ 

CP10 : VR1零調整用

CP11: VR2零調整用

CP12 : バッテリーエラー調整用

CP13: バッテリーバックアップ調整用

CP14: バッテリー電圧

CP15: RAM、CS 確認用

CPM: エンコーダマーカ信号

5 V : 電源 5 V

GND:

15V:アナログ回路

-15V: "

3. ボリウム

VR1: CP10 零調整用

VR2: CP11零調整用

VR4: INL-INH零調整用

VR5: CP13調整用VR

VR6: CP12調整用

4. ディップスイッチ

SW1: PR1, PR2、PR3 プログラムモード選択

CTCL 表示クリア選択

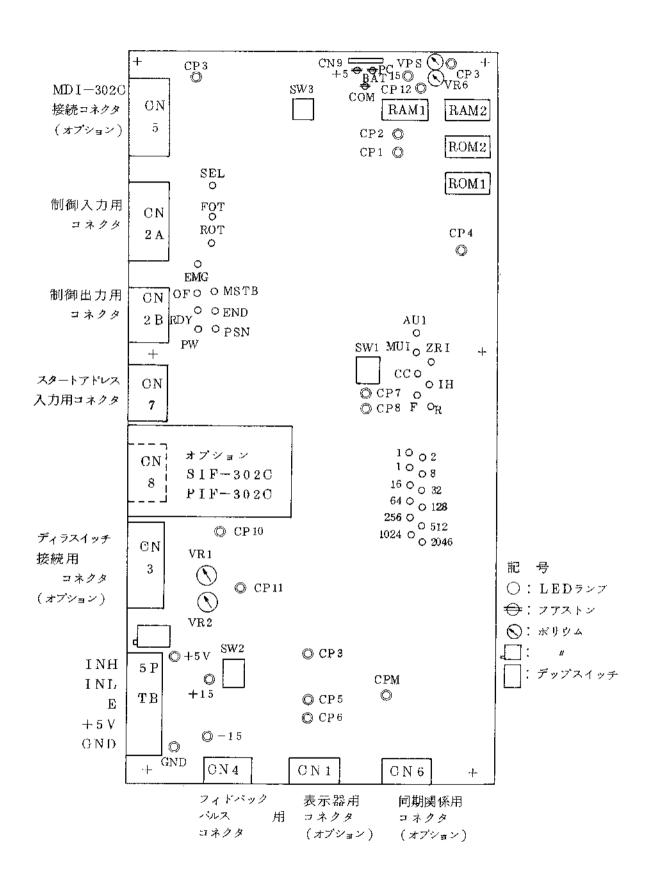
SW2:A/B エンコーダ相順切替

MK 原点切替

表示符号切替

SIU リニアスケール選択

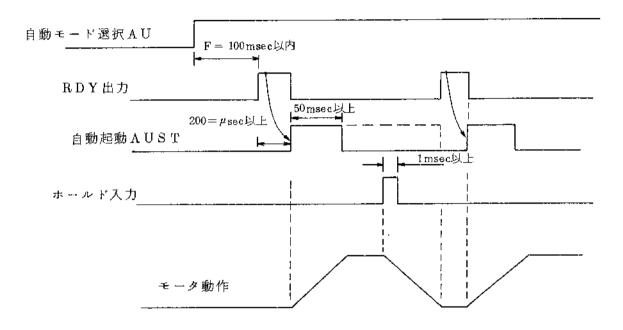
SW3: RAM プログラム領域 ROM、RAM 切替



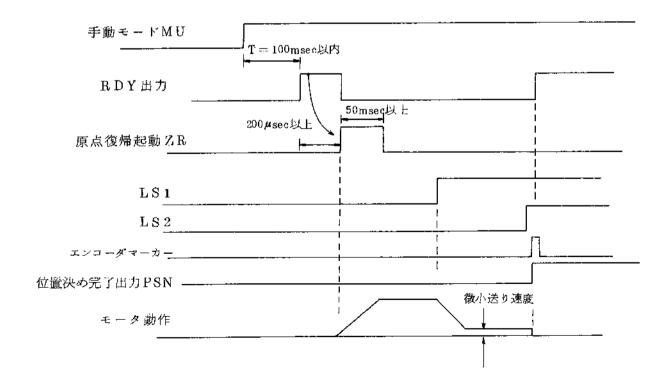
### 11. タイムチャート

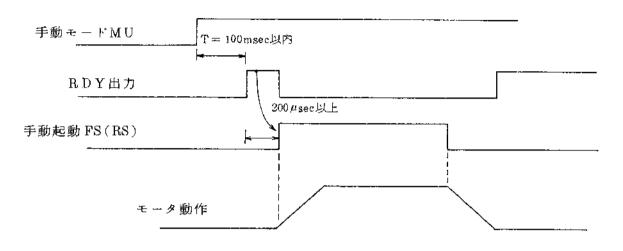
注)下図の時間Tは電源投入時と編集モードが解除された時は、実行データ作成のため長くなります。

(自動送り)

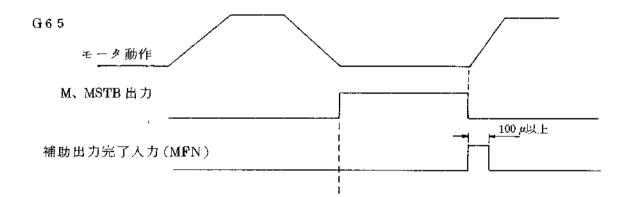


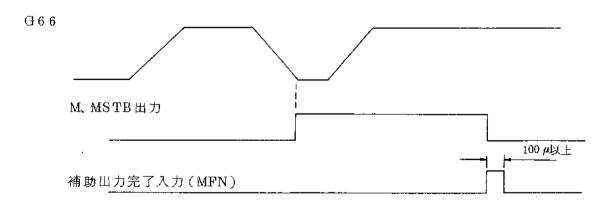
(原点復帰)



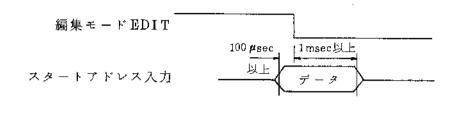


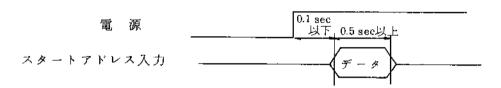
補助機能出力





# スタートアドレス





# <パルス列入力>

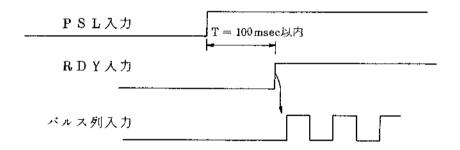


表37 エラー表対応表

名       新       エ       ラ       ー       内       容         バッチリーエラー       ブログラム及びバラメータの内容を確認する必要有り         正方向オーバートラベル       正方向のオーバートラベル用リミットスイッチが押されている         遊方向オーバートラベル       遊方向のオーバートラベル用リミットスイッチが押されている         ガカウェーバートラベル       遊方向のオーバートラベル用リミットスイッチが押されている         スタート番地部やエラー       自動モードにおけるスタート番地が 夕~999 番地 以外						<del>, , , , , , , , , , , , , , , , , , , </del>						
名 称       エ ラ ー 内 容       検 出         パッテリーの電圧が低下している場合       コログラム及びパラメータの内容を構築する必要有り       電源投入時         匠方向オーバートラベル       正方向のオーバートラベル用リミットスイッチが押されている       すべての移動動作にお         遊方向オーバートラベル       遊方向のオーバートラベル用リミットスイッチが押されている       同 上         スタート番地がヴェラー       自動モードにおけるスタート番地がβ ~999 番地以外       POWEBON 校 モードSW		A CANADA TO TATA A CANADA T	- ドを切り替えることにより復帰	ードで逆転移動しリミッ した後キード切替	<ul><li>ドで正転移動しリミッ した後、モード切替</li></ul>							- ドに切替後ブログラ
名       新       エ       ラ       ー       内       容         バッテリーエラー       フログラム及びバラメータの内容を確認する必要有り       正方向ターバートラベル用リミットスイッチが押されている         遊方向オーバートラベル       遊方向のオーバートラベル用リミットスイッチが押されている         ガラウェーバートラベル カンカーバートラベル用リミットスイッチが押されている         スタート番地部やエラー       自動モードにおけるスタート番地がβーフラー	<u> </u>		Н		# 12				1			<u> </u>
名 称       エ ラ         ベッテリーエラー       ベッテリーの電圧が低下し プログラム及びベラメータの 正方向オーバートラベル         遊方向オーバートラベル       遊方向のオーバートラベル用リー         遊方向オーバートラベル       遊方向のオーバートラベル用リー         カクート番札器やエラー       自動モードにおけるスター	鮝		電源投入時	よべんの ない ない なお	-							POWEBON 後 モードSW ON 時又は編集 モードよ り他モードに 切替時
A   A   A   A   A   A   A   A   A   A	i E		テリーの電圧が低下している場合 グラム及びパラメータの内容を確認す	1								- ドにおけるスター
\$ 0 1 2 K 4 5 9 5 8 6 0			) — <b>π</b> >	正方向オーバートラベル	遊方向オーバートラベル							スタート番地設定エラー
	ON.	0	П	2	က	4	5	9	7	∞	6	10

뢷	分零	1 7 - 内容	被田田	復帰
F	G記号解読エラー	定義していないG記号のブロックを検出した場合	POWERON後,又は編 集モードに切替時	編集モード化切替後プログラム確 認
12				
13	G 6 (リピート) レベルオーバー	リピート動作のネスティング(多重使用)が10段階を越えた場合	自動モードプログラム 実行中	編集モードに切替後プログラム確認
14	G68(3-12)	サブルーチンコール動作のネスティング(多重使用)が 10段階越えた場合	POWERON後、又は編 集モードより他モード に切替時	編集モードに切替後プログラム変更
15	G98(リターン) レベルオーバー	G68(コール)より多くのG98(リターン)実行する場合	干鱼	ll.
1 9 79	ブログラムエリア 指定エラー	プログラムNO、0 以前のプロックを実行しようとした場合	甲	b t
17	꾸	ブログラムNG、999以後のブロックを実行しようとした 場合	<b>각</b> 발	ll l
18	G91(分岐) 使用エラー	サブルーチン内でG91(分岐)を実行しようとした場合	<b>T</b>	
19	G 2 4 (寸勢) 動作範囲エラー	寸動動作範囲以上の指令を出した場合	自動モードプログラム 実行中	モードを切り替える事により復帰
20	実行ブロック数オーバー	実行ブロック数が 500 ブロックを越える場合	POWERON後又は、編 集モードより他モード に切替時	編集モードに切替後プログラム変更
21	G79(再スタート) 指定アドレスエラー	指定できる範囲外のブドレスが設定された時	自動モードプログラム 実行中	モードを切り替える事により復帰
22				

<del>- 79 -</del>

Ţ					<del></del>	<del>-</del>			100	<del> </del>	<del></del>	
**************************************						7			CL キーを押す 他モードに切替	11		
復				-room-					編集モード時: 自動モード時: (4)			
=======================================								3 3 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	受信時	4		
<b>*</b>									バラレスデータ受信時	E		
										~ 學		
<b>₩</b>		:								クタ以外を検出した場合		
<u> </u>	:								1-以外	7夕以外名		
1									数ベリテ	18		
H							!		"一夕办谷	"一夕が指		
									受信したデータが呑数バリティー以外を検出した場合	受信したデータが指定キャ		
蒸									* 1v	& H 		
始									パラレルデー パリティーエ	パラレルデーキャラクター		
NO.	23	24	25	26	2.7	82	59	3.0	31	32	33	3.4

	₩ 11/L						滛					
復帰	編集モード時: CL キーを押す自動モード時:他モードに切替						編集モードに切替後 プログラム変 更					
横	パラレルデータ受信時						自動モード、ブログム 実行中	<u>i</u>				
1. 7 1. A A	受信したGコードが指定Gコード以外を検出した場合						ABS指令値をINC指令値に変換した時指令値が6クタ以上になった場合	指令値にバックラッシュ値を加算した時指令値が6クタ 以上になった場合				
治養	パラレルデータ Gコードエラー						ABS指令値オーバー	バックラッシュ指令値 オーバー				
g Z	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46

· 0

0

- 81 -

10000000000000000000000000000000000000		CLキーを押し、ROMライターの 検定及びSIFの設定を確認	II	OLキーを押し、ROMライター側のエラーを解除する。	CLキーを押し、ROMライターの設定及びSIFの設定を確認							
茶		シリアルデータ受信時	브	<u>-</u> -1	シリアルデータ受信時							
(A)		指定キャクタ以外のシリアルデータを受信した場合	USARTのバリティエラー、オーバーランエラー又はフレームエラーを検出した場合	ROMライター側のエラーを検出した場合 (ROMライター側のエラー番号を N/P 部に表示)	送信したシリアルデータが正常に受信されなかった場合							
4		ンリアルデータ受信エラー	シリアルデータ転送エラー	ROM > 1 A -	ンリアルデータ 送受信エラー							
롿	09	61	62	63	64	- 83 -	99	29	89	69	7.0	7.1

- 83 --





●ご使用の前に取扱い説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

※ 製品改良のため、定格、仕様、寸法の一部を予告なしに変更することがあります。 Note: In order to upgrade the rating, specifications, and dimensions could be changed without notice.

機械の 智・パワーシステムをクリエイトする

社/〒216-0003 神奈川県川崎市宮前区有馬2-8-24 FAX. 044(854)7746

ホームページアドレス http://www.nikkidenso.co.jp

●本 社 営 業 所/〒216 0003	神奈川県川崎市宮前区有馬2-8-24	TEL. 044(853)2832〈代表〉	FAX. 044(856)4515
●佐 倉 営 業 所/〒285-0802	E-mail:honsyasales@nikkidensp.cc, jp 千葉県佐倉市大作1-4-2	TEL. 043(498)3411〈代表〉	FAX. 043(498)3630
●北関東営業所/〒331 0051	埼玉県大宮市櫛引町2 275 ウエノビル1F E-mail:kitarænsales@nikkidenso.co.jp	TEL. 048(666)2531〈代表〉	FAX: 048(666)2830
●名古屋営業所/〒481-0035	愛知県西春日井郡西春町大字字福寺字神明32 E-mail:nagoyasales@njkkidenso.co.jp	TEL. 0568(24)1131〈代表〉	FAX. 0568(24)1141
●大 阪 営 業 所/〒564-0044		TEL、06(6337)2061〈代表〉	FAX. 06(6337)2064
●海 外営 業部/〒285-0802		TEL. 043(498)2315〈代表〉	FAX. 043(498)2327
●佐 倉 事 業 所/〒285-0802	千葉県佐倉市大作1-4-2	TEL. 043(498)2311〈代表〉	FAX. 043(498)2224
◆ CE(サービス)センター/〒285-0802	千葉県佐倉市大作1~4~2 E-mail: cecenter@nikkidenso.co.jp	TEL. 043(498)2411〈代表〉	FAX. 043(498)4484
●川崎 サービス/〒216-0003	神奈川県川崎市宮前区有馬2-8-24	TEL. 044(853)1650(代表)	FAX. 044(854)7728
	愛知県西春日井郡西春町大字宇福寺字神明32	TEL. 0568(24)1131〈代表〉	FAX. 0568(24)1141
●大阪サービス/〒564-0044	大阪府吹田市南金田1-14-30 江坂山崎ビル6月	TEL. 06(6337)2061〈代表〉	FAX. 06(6337)2064
●(株)サイヴァース / 〒216-0003	神奈川県川崎市宮前区有馬2-8-24	TFL, 044(888)1944(代表)	FAX 044(888)1094

Creates Intelligent Machine System

Nikki Denso Co., Ltd. Head Office: 2-8-24, Arima, Miyamae-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa-ken, 216-0003 Japan Phone 81 44 855 4311 Fax. 81 44 854 7746 Overseas Operations Dept: 4-2, Osaku, 1 chome, Sakura-shi, Chiba-ken, 285-0802 Japan Phone 81 43 498 2315 Fax. 81 43 498 2327

	<u></u>	